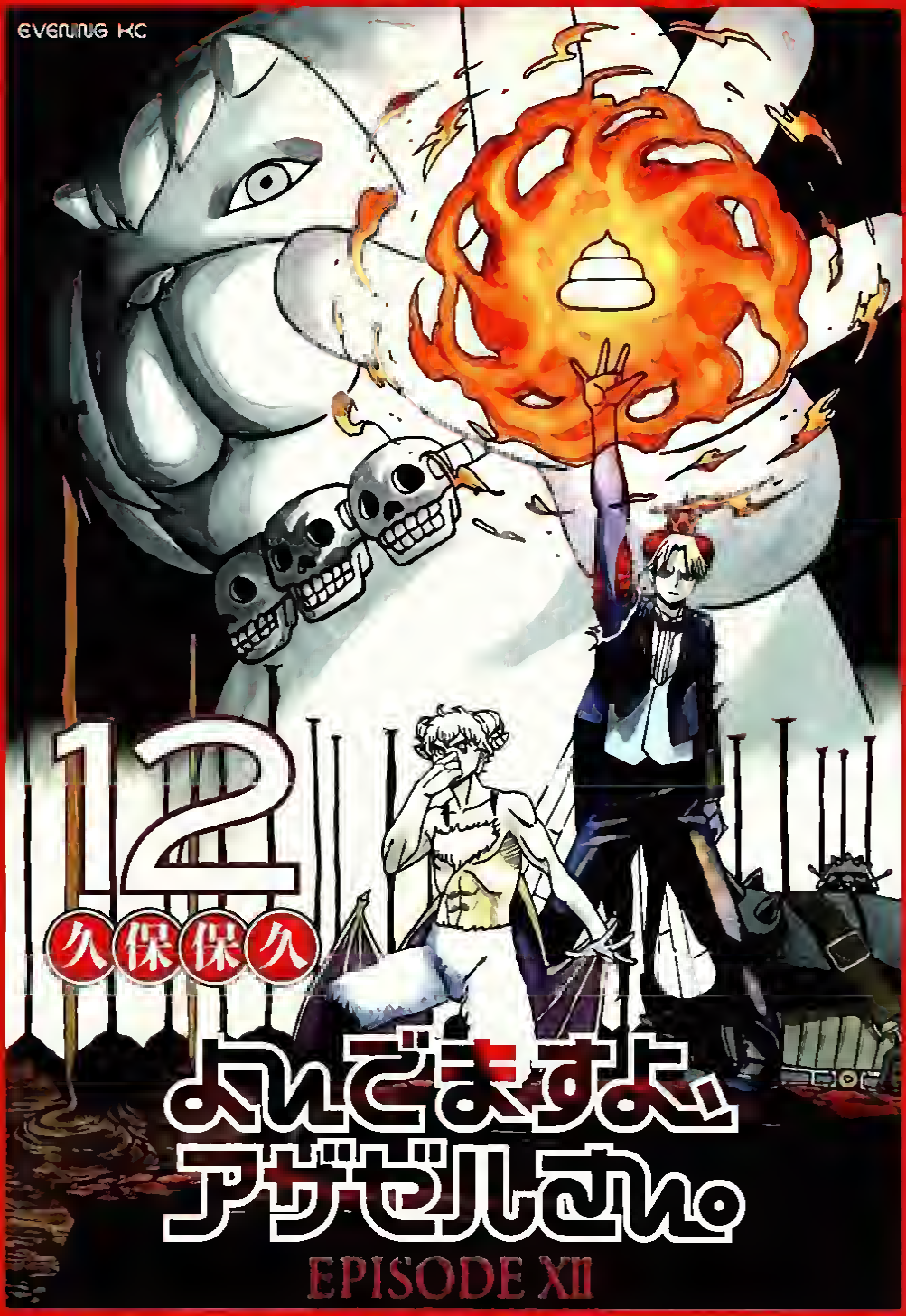

EVENING KC
12
久保保久
よんでますよ、アザゼルさん。
EPISODE XII

よんでますよ、アザゼルさん。

12

久保保久

これまでの
アザゼルさん。
これまで行方不明だったルシファーの
地獄帰還を機に、
魔宰相ルキフグスによる策謀が動き出す。
標的は魔公爵ベルゼブブとその領地である
魔界第6層エリアUNK。
ルシファー様復帰記者会見

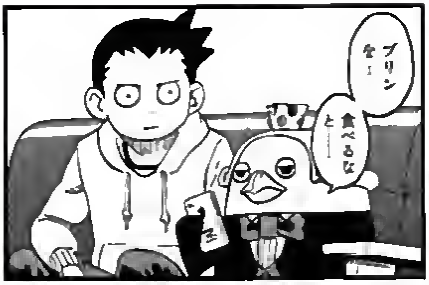
魔平民アザゼルは、ルキフグスの奸計により、環境大臣へと就任。

副官のコロフンガスとともにアザゼル篤史は魔界の美化を掲げベルゼブブと対立することになるのだった……!!

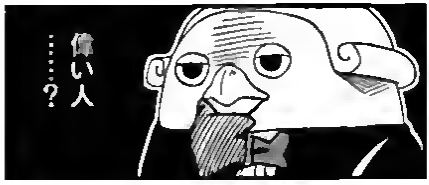
これからの「アザゼルさん。」は次ページから!!

第 109 話　糞便の教え …… 5
第 110 話　へびでかー …… 31
第 111 話　蝿嵐 …… 49
第 112 話　糞闘士（クソデュエリー） …… 67
第 113 話　爆誕！ 謎の糞便生命体!! …… 85
第 114 話　死闘！ ルシファーVS.始まりのうんこアダム!! …103
第 115 話　黄金の伝説 …… 121
第 116 話　ザ・フライ …… 139
第 116.5 話　トイレその後に …… 157

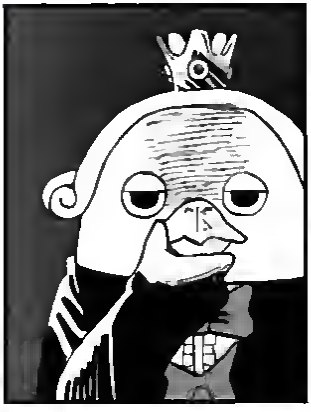
第109話
糞便の教え
芥辺探偵事務所
芥辺探偵事務所
おや？
そういえば最近とんとアザゼルくんを見かけなくなりましたなァ……
そういえば……
あれ？
二人とも何も聞いてないんですか？
へ？
こんなメッセージが
よォ アホさく元気にしとるか

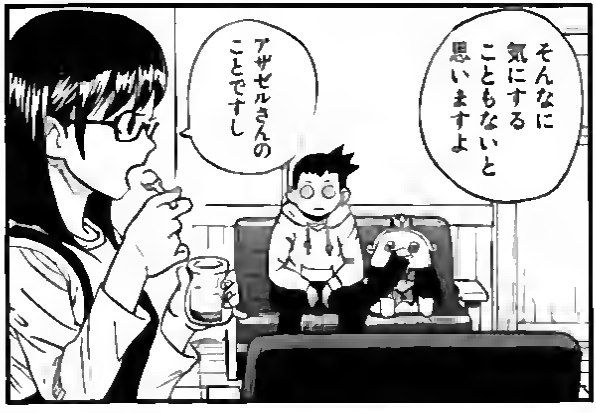

プリン食べるなよ——

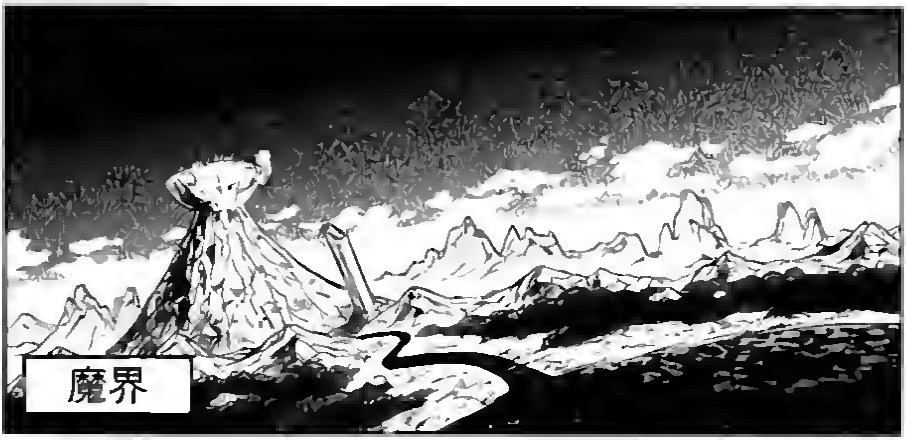
なんでも魔界の偉い人の所で働くから忙しくなるんですって——
ガヤヤ


偉い人……？

3/5(木)
アザゼル真史
ワシしばらくそっちに顔出されんくなったわ 0:09
ちょっと大きい仕事が入ってな 3:27
魔界の偉い人のところで 5:50
働くことになりました 5:51
せやから主力メンバーのワシが抜けて大変やと思うけどサブの連中だけで 7:49
うまいことやってくれ 7:49
じゃあの 7:50
寝てんの？ 8:30
冷蔵庫のプリン食べたらアカンで 15:52
駅前の新しい店で買ってんけど 15:52
さくちゃん知ってる？ 15:54
3/6(金)
さくま
わかりました— 20:51
プリン食べんといてな 20:52
食べんなよ 20:53
プリン 21:24




そんなに気にすることもないと思いますよ
アザゼルさんのことですし


魔界

妙だぞ…
ブ
ブ
ブ
ブ

エリアUNKから
ハエの音が止んでいる…

!!

これは…

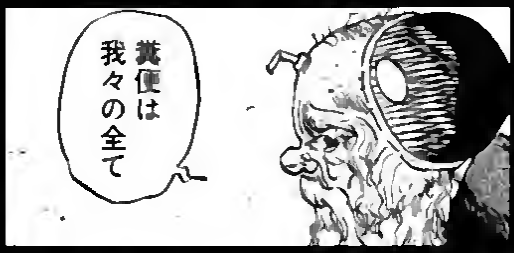
うう…
悪夢じゃ
これは悪夢じゃ…
なにがあったのです長老
おおおお
優一様…
私も我が目を疑いました
あんなにあった大量の糞便はどこへ消えたというのです
ゴポゴポ
あの男ですじゃ
あの男が全てを
我々の全てを奪っていったのですじゃ…
おお今日も山盛りじゃのォ――
大量大量

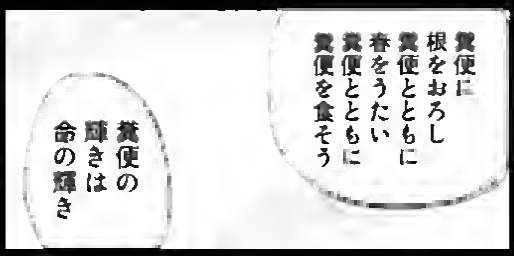
どおれ
ちっぱ
ちっぱ
うんっ
美味いっ
今年は
いいクソ漬けが
できるわい
優一様に
喜んで頂ける
の
おっと ギンじい
そのへんに
しとかねえと
エリアUNKが
なくなっちまうぜ
まったく
これが
ホントの
クソジジイって
やつさ
ちげえ
ねえ
やめいやめい
やめ――い!!!!

今日は収穫の日なんじゃ
娘にだけは入らんでくれんか
なんじゃ——
キサマらは——
ぐっちゃり
ババまみれやないか
クソジジイ——
ヘルメット
それ以上クソをこねくり回すんをやめんかい
汚らわしいクソバエどもめ

ギンじい!!
ブンブンわめくな害虫どもめ
このフライバスターで八つ裂きになりたいか
突然すみません ベルゼブブ族のみなさん
この方はアザゼル環境大臣です
このたびルシファー様の命により新しい法律が施行されることになりましたのでお伝えにあがりました
その名も…
糞便規制法
!?
今後魔界ではいかなる糞尿行為も認められなくなりました
単純所持も同様に死刑となります
よって今日をもってこのエリアUNKは閉鎖
跡地には緑豊かなアザゼル緑地公園を作り未来永劫 大臣の功績を称えるアザゼル記念館を建設するものとします
ざわ
ざわ
ざわ
ざわ
バカな

お待ちくだされ
す……


糞便は
我々の全て

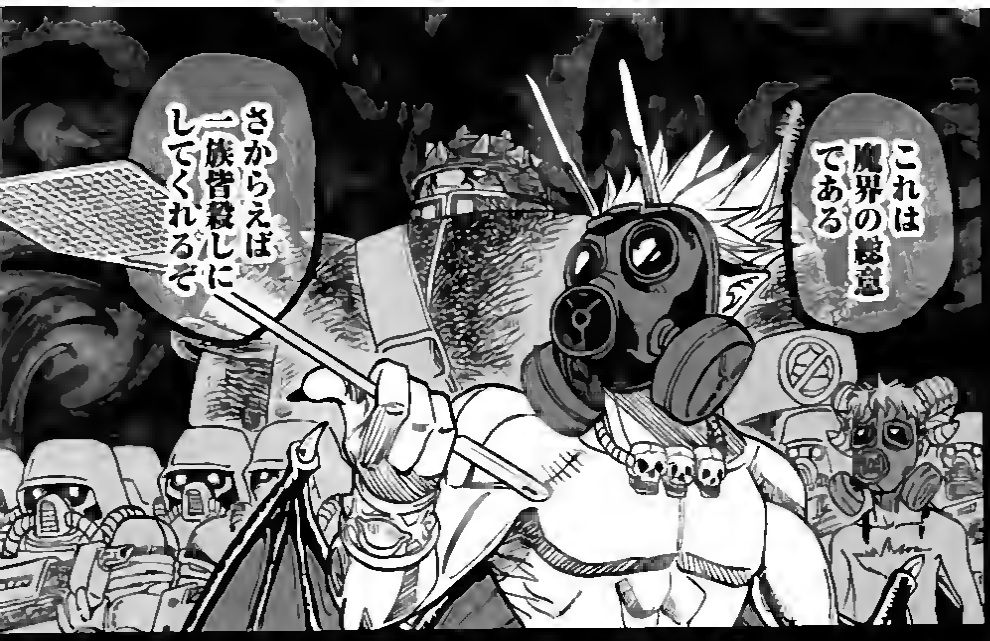

糞便に
根をおろし
糞便とともに
春をうたい
糞便とともに
糞便を食そう
糞便の
輝きは
命の輝き

命を
奪われ
我らは
明日をどう
生きればよい
のですじゃ……
ヴ――

そうだ
そうだ
――
そんな法律
認めんぞ
――!!

だまるえええ
えいいいいいい
キサマらの食糧事情
など知ったことか――
――!!

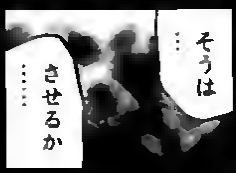
糞界に
住んどんのは
オドレら
だけでは
ないのだ
近隣住民から
スッゲェ苦情が
殺到しておる
のだ!!


これは魔界の総意である
さからえば一族皆殺しにしてくれるぞ

?!

よぉーしエエ子や

回収作業にかかれ


そうは……させるか……

ドド
へ？
いかーん
やめぬか
おぬしら
ドゴ
ズド
ゾゴゴゴ

ドドド
ハヤイ
ブンブン
マズイ!!
こいつら
メチャクチャ
強いぞ!!
わーわー
タタタ
隊長!
指示を!!
ガッ
バイビ
ーん
待て
一族の怒り
思い知れ
ハエか…!
ハエを手の平に
集中させている…!!

操る蠅の数が
多いほど
糞球は
大きく
強力になる

これは
戦士としての
強さの証であり

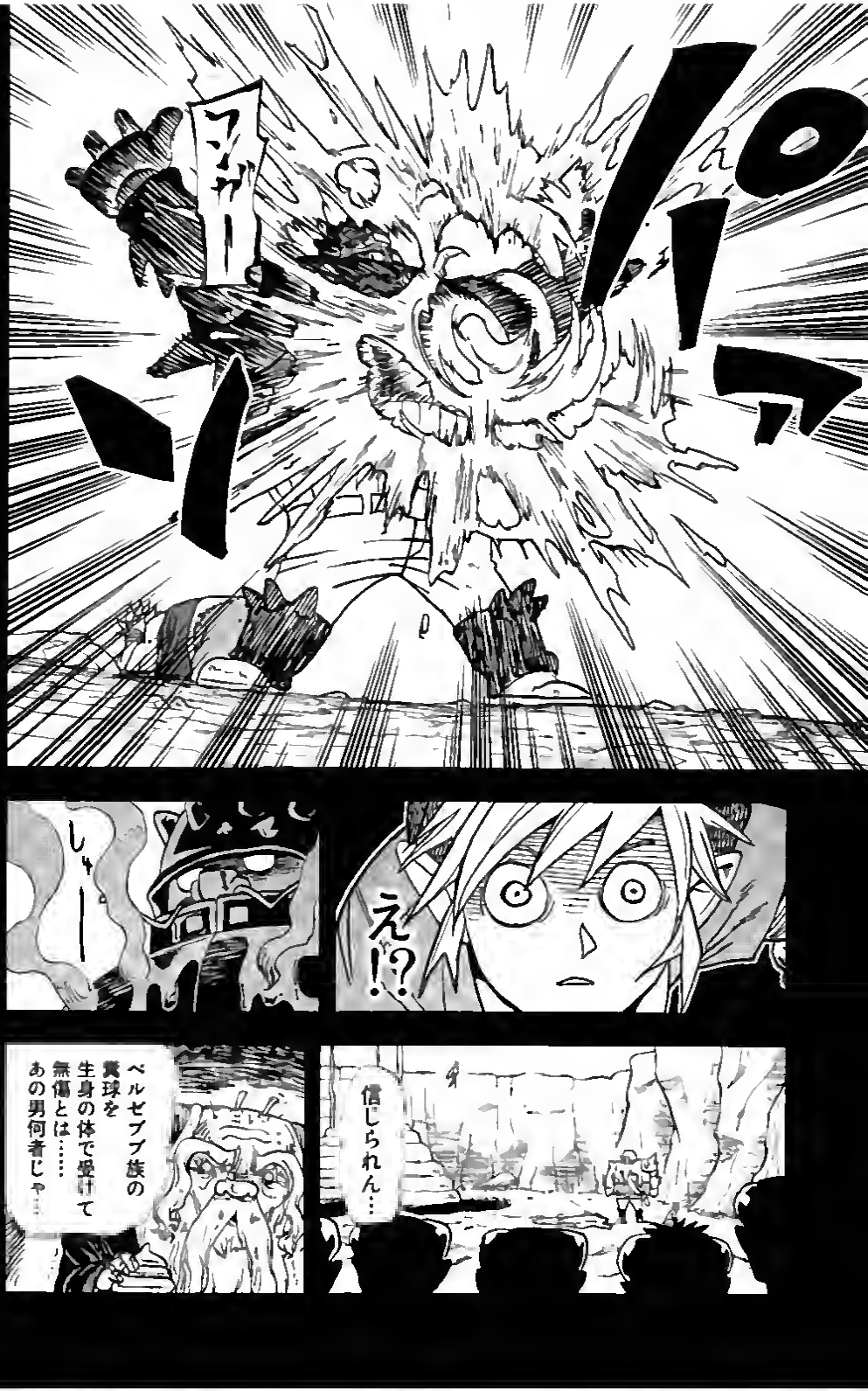
短時間に
ここまで
巨大な糞球を
練りあげるには
数万匹の
蠅力を要する

この若者は
かなり手練(てだ)れの
戦士であると
いえるのだ!

よせ…
おちつけ
バカなマネはやめるんや…
糞球はただの糞の塊じゃない
糞の毒素を凝縮した超猛毒糞便弾だ
くらえばただではすまないぞ
エリアUNKから手をひけ
今すぐ兵をつれてここから立ち去るんだ
わわわわ
わかった……
キミの言う通りにしよう…
だからそのブッソウなブツをしまってくれねェか…
あぶなくってしかたねえや
ドボ

ぶわははははバカめ かかりおったなー!!
くあっ
おとなしく降りてこんかい！貴様一匹の命で勘弁したらあ!!!
なんという卑劣な…!!
こやつこんなベタなことをして恥ずかしくないのか!!
たあっとれおいぼれがア!!!
へ？

まてまてまて
待て——!!
このジジイが
死んでも
かまわんのか
——!!
ひそ
ひそ
あのじいさん
ハエだから
平気だよね
ひそ
ひそ
だよね
オレも
それ思った
わ
くたばれ——
デカイ!!
あの男
ケシ飛ぶ
ぞ!!
ギィヤアアア


ゴガー
ん!?
え!?
しゅー
信じられん…
ベルゼブブ族の
真球を
生身の体で受けて
無傷とは……
あの男何者じゃ…

くっくっくっくっ
見たかこれが我が部隊！
我が力よ!!
やってしまえコロフンガスよ!!
ピキーン
おいチビ
さっきのゆるゆるの軟便はなんだ
目覚めのシャワーかと思ったぜ
なんだとお…
!?
コロコロコロ
お前を倒すにはこの鼻クソサイズで充分だ

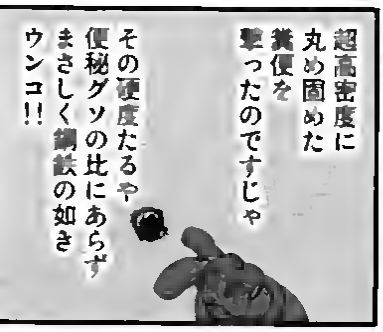
ぬかせ——
ピ!
な、

ウージ!!

お前の戦い方は
ただのウンコの
無駄使いだ

たいした
ことはないな
ベルゼブブ族
とやらも

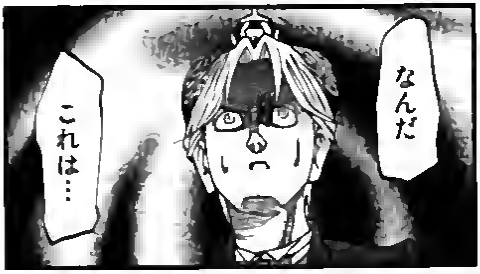
ドゴ
ボー

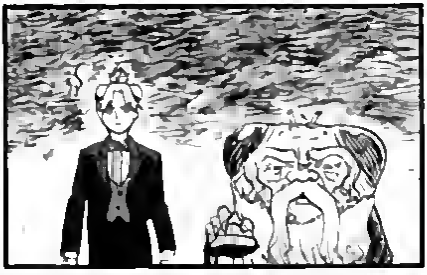

超高密度に
丸め固めた
糞便を
撃ったのですじゃ
その硬度たるや
便秘グソの比にあらず
まさしく鋼鉄の如き
ウンコ!!

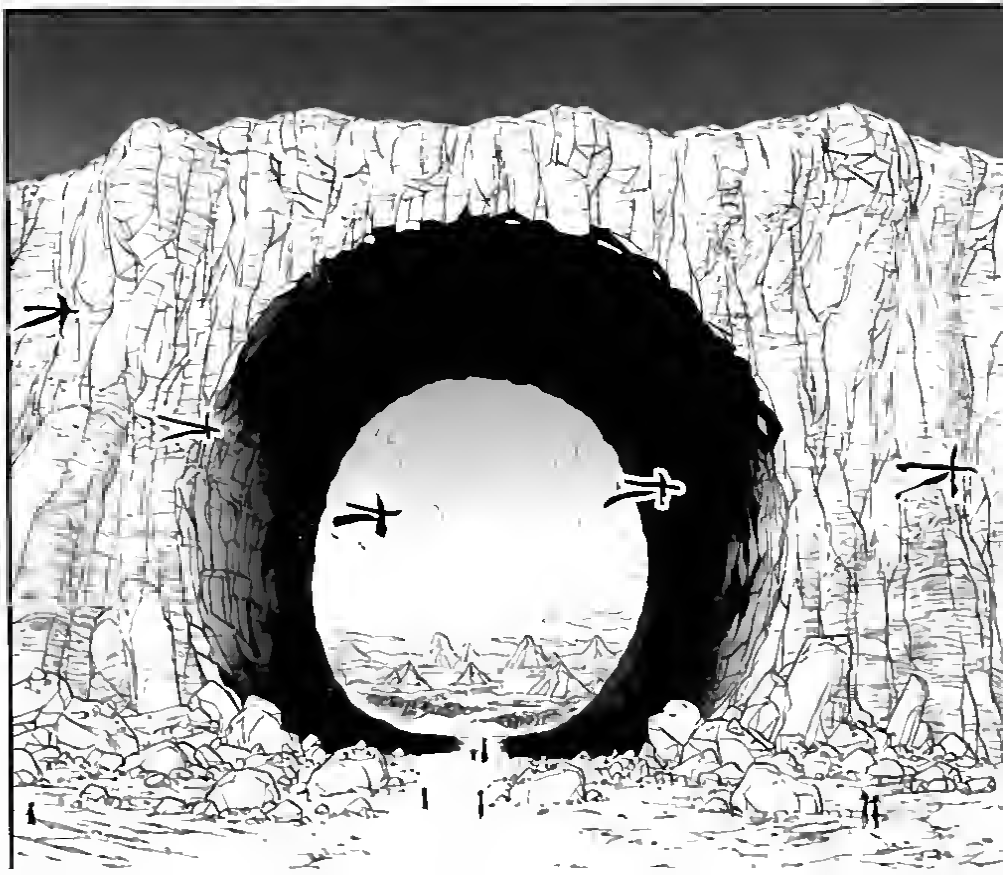
あれは
まぎれもなく
黒球じゃった…

クソの…
弾丸と
いうわけか…

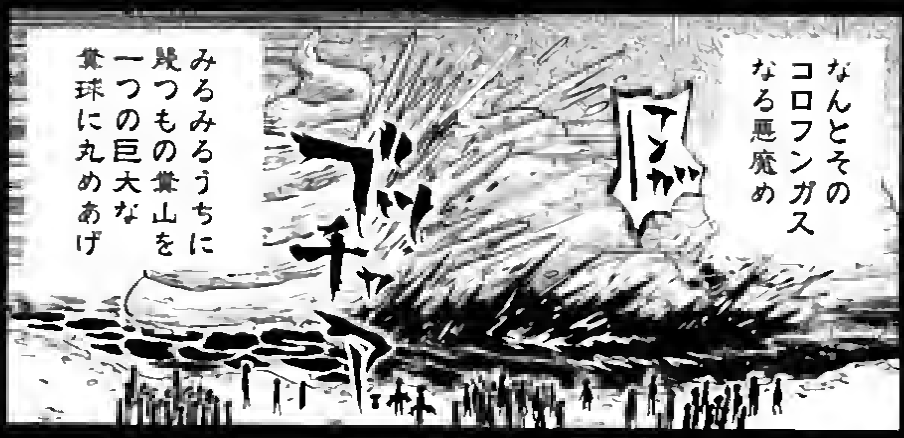
優一様に
お見せしたい
ものが


なんだ
これは…





我々は
恐ろしい光景を
目のあたりにしたのですじゃ


なんとその
コロフンガス
なる悪魔め
アンガ
ゴッチャ
みるみるうちに
幾つもの糞山を
一つの巨大な
糞球に丸めあげ

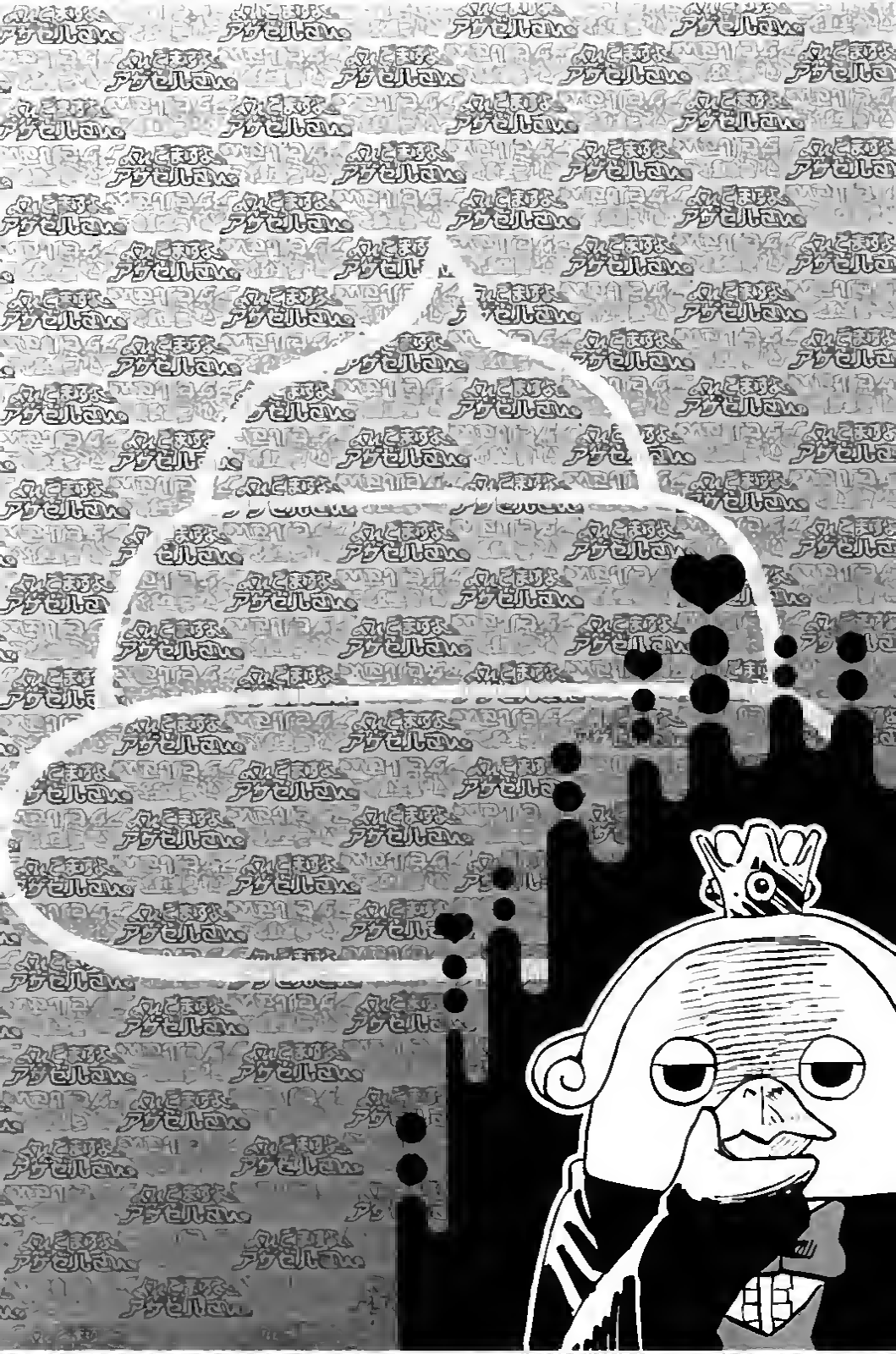
エリアUNKから
全ての
糞便を
転がし持ち去って
行ってしまったの
ですじゃ……

なんだと……!?
恐るべき使い手だ
まちがいなく糞便使いのスペシャリスト……!
じかし魔界広しといえど糞便に長けた悪魔は
このベルゼブブ族をおいて他には存在しないはず……!
何者だ
コロランガスとやら…
う…
ゴボ
ゴボ
長老!?
長老!!
ゴボゴボ
ゴボゴボ

薬は!?
ダメだ
もう材料の
うんこが
ねぇから
作れねェだ
ハァ
ハァ
ハァ
夢ってはならぬ…
異使の
教えに
従うのじゃ
……
長老!
長老!!
最一様…
ぎき…
お婿さ
下され…
コク…
ぎに…
異使の
加護があらん
ことを……
カ?
長老

ウージ
あとはたのむ
うっ
うっうっ〜
優一様！
やってくれたな
アザゼル
ルシファー
あいにく民を傷つけられ黙っている程
私はお人好しではないぞ
第109話 終わり

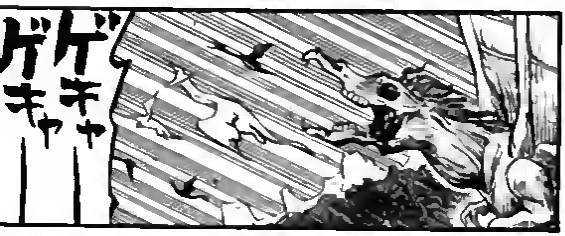
真是……


んんこまりな
アゲセルさん。

ホー
ホー
ホー
ホー

ピクッ
!?

グルルル…


ゲキャ
ゲキャ

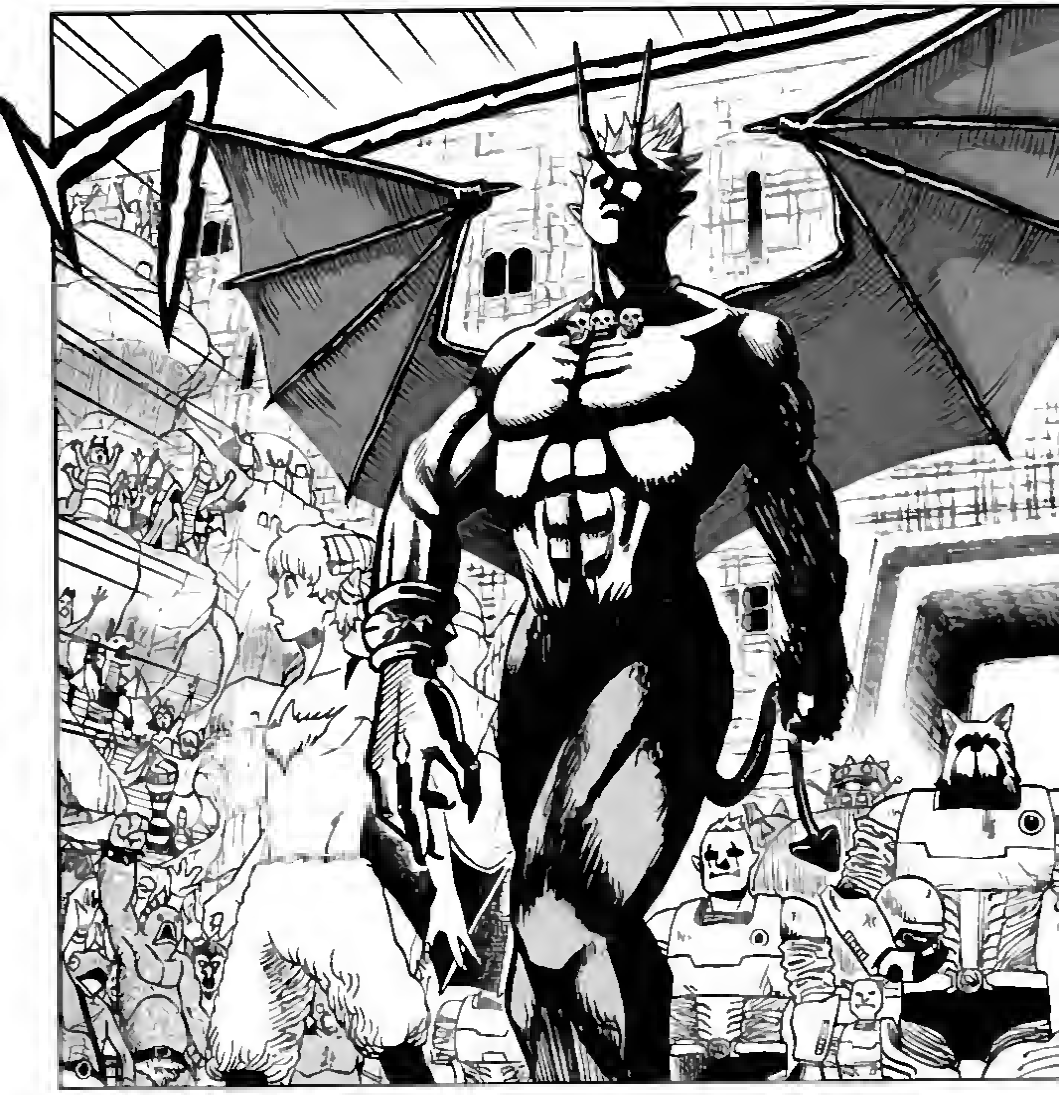
オオオオオオ

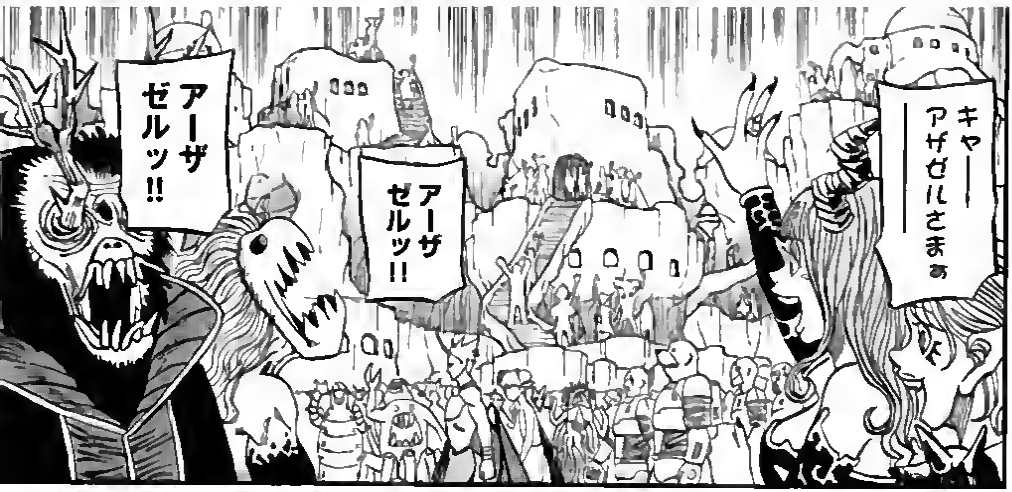
ベキベキベキ

ゴゴゴ

第110話 へびでかー

アザゼル隊が
帰ってきた
ぞ――!




キャ――
アザゼルさまぁ
――――
アーザゼルッ!!
アーザゼルッ!!

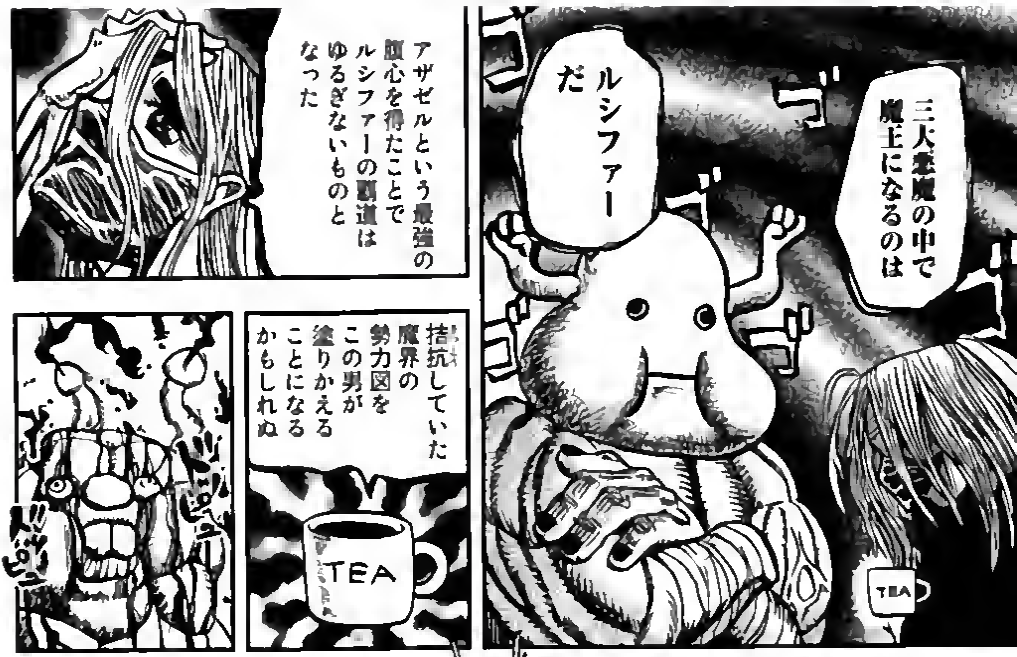
もう何万年も誰も手がつけられなかったエリアUNK問題をこうも簡単に片づけちまうとはな

なんでもあのベルゼブブ一族を皆殺しにしてきたらしいぜ
なにっ
あの魔界最強と言われる一族を……!?

恐ろしい時代じゃ
これ程の悪魔が何の野心も抱かず実家でゴロゴロしておったとは…

よおく見ておいで子どもたち歴史に名を刻むお方のお姿を…
はいパパ様

間違いあるまい
ザッ


三大悪魔の中で
魔王になるのは
ルシファー
だ
TEA
アザゼルという最強の
腹心を得たことで
ルシファーの覇道は
ゆるぎないものと
なった
拮抗していた
魔界の
勢力図を
この男が
塗りかえる
ことになる
かもしれぬ
TEA

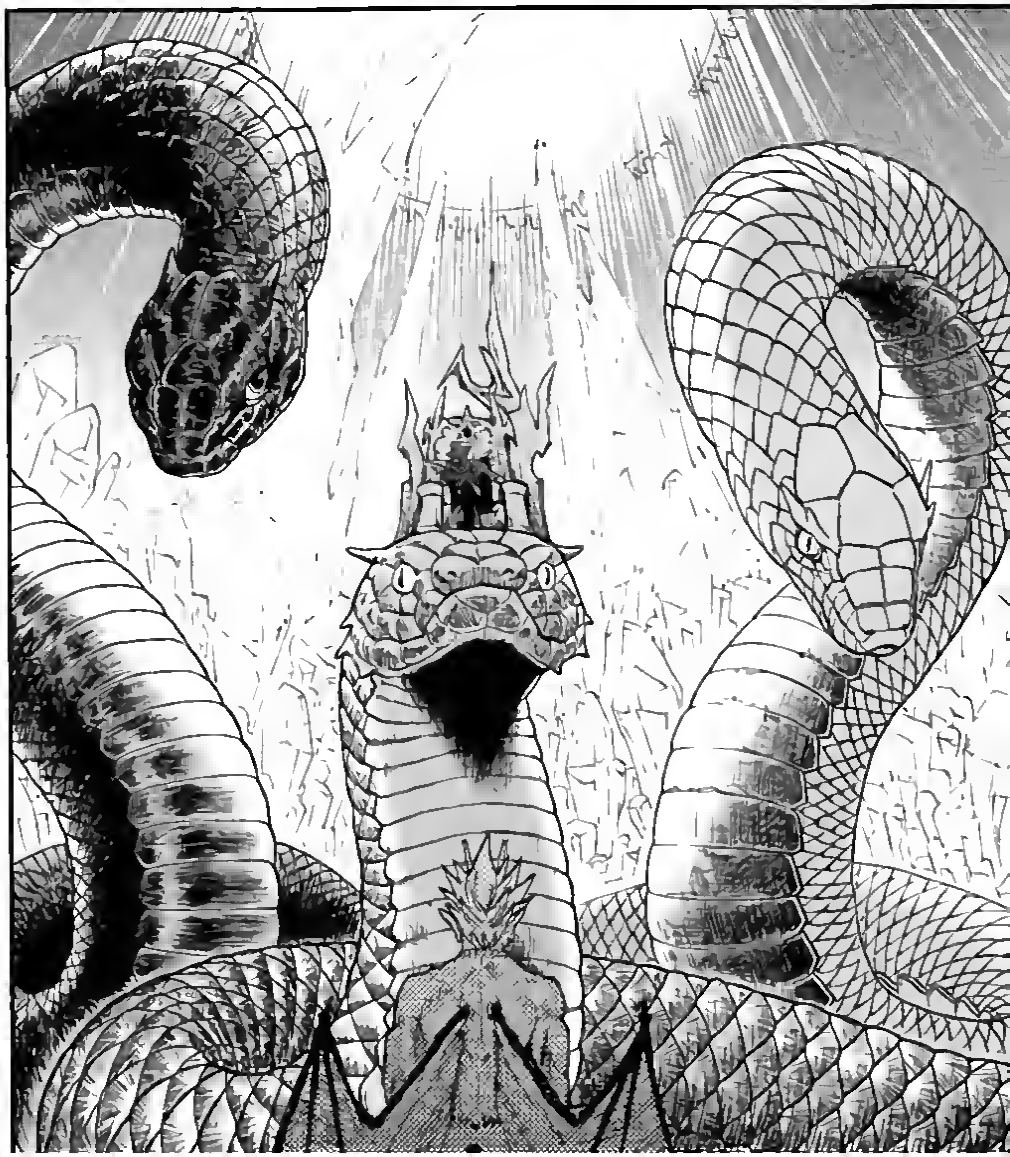
アーザゼルッ
アーザゼルッ

やりましたね
タイチョー
すごい人気
じゃないっス
か！

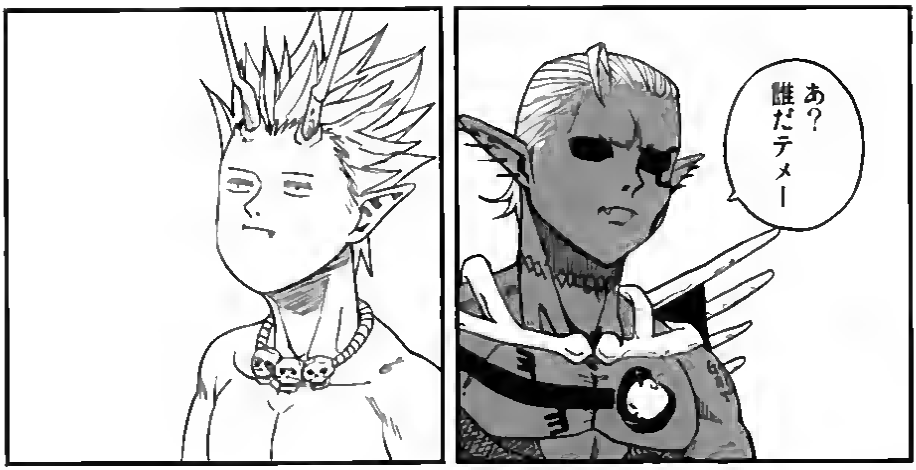
フー
フー
フー

こないだまで
魔平民だったのに
今や一国の大臣
そして今回の
作戦成功による
民衆の
圧倒的支持！

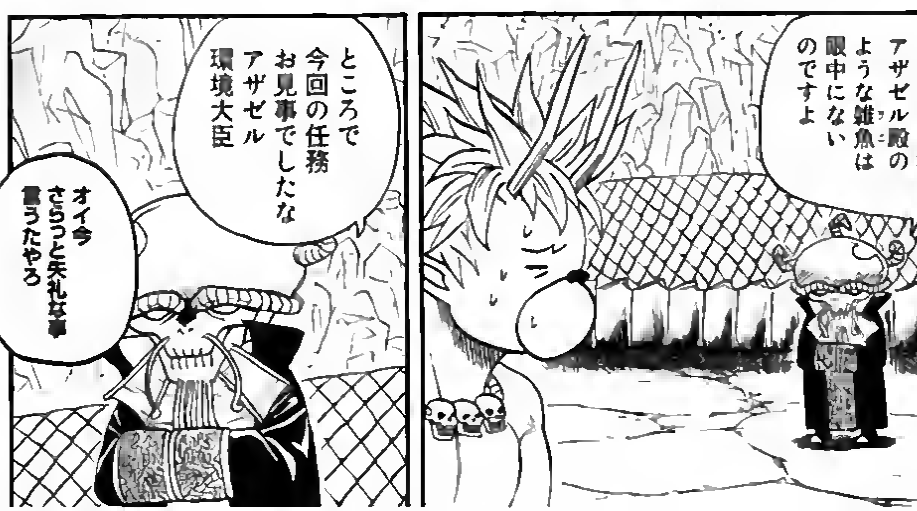
もはや
ルシファー様の
右腕といっても
過言ではない
っスよ
ピタ
ルシファーの
右腕…か
よかろう
このアザゼル
今はまだ
その地位に
甘んじよう
しかし覚えておけ
ワシは
キャツごときの
右腕で終わる
悪魔ではない
キャツを倒し
魔王になるのは
このアザゼル篤史
だということを…!!
ハッタリでは
ない
このお方に
とって
ルシファー様は
通過点に
すぎない
見てみたい
裏切り…
策謀…
血で血を洗う
悪魔の世界で
このお方の
特殊が
どこまで
通用する
のか……
おっと
お前らは
ここまでや
ワシは
ルシファー様に
謁見せて
くるで
魔界で会うんは
初めてやな
ルシファー
お前が
どれ程のモンか
見極めたろ
やないか
邪魔するで
!!
ガイイイ



キャ――
へびや
へへへへへび
へびへび
アオダイショーや
コレアカンヘビや!!
もっとるやっちー
ふえっ?
アオダイショウに
なるさ
……
アンタが
ルシファー
兄さん
でんな
人間界では
世話んなり
ましたな
こんな形で
会えたのも
何かの縁
また一緒に
暮れましょや


あ？
誰だテメー

いいやないあアッシですよ！
ホラキャッチボールとかしましたやん懐しいなあ
あれ4巻ぐらいですっけ
忘れるのもムリありまへんわ
せや！髪型がちゃうからかな？
ほらこれでわかったでしょ
わしゃ
知らねーよ!!
ノックもなしに人の部屋入ってくんじゃねーよ!!

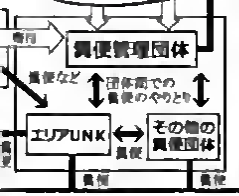

お気に召さるなルシファー様はアザゼル殿のような雑魚は眼中にないのですよ
ところで今回の任務お見事でしたなアザゼル環境大臣
オイ今さらうっと失礼な事言うたやろ

あなたの働きが
魔界にもたらした
恩恵はいかばかりか

まず
糞便によって
破壊された
動植物の生態系が
甦ります

メタンガスの
削減で
魔界温暖化が
解決

また
糞便利権に
群がっていた
ベルゼブブ一族の
関連団体は瓦解し
不透明だった糞便の
流れが明らかに
なるでしょう



まあの
ワシにかかれば
こんなもんですわ

まぁでも
ぶっちゃけ
そんなこと
どーでも
いいんですけどね

どーでも
エエて
どーゆー
ことや

さっきから
何なんや
アンタ

みんな
一生けんめえ
やったんや
で!?

失礼
失礼

うんこ
よみれで
頑張ってんで!?

どーでもよすぎて
ついつい本音が

実は
こんなものは
私の壮大な計画の
準備段階に
すぎませぬ

真の目的は無論
その先にあるのです

フ…

歓迎い
やっちゃで

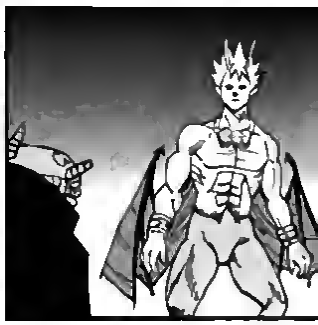
まだこの
アザゼル魔史の
力を欲するかよ…

よかろう
話してみよ

さすがです
頼もしいお方だ…

真の目的
それは――

アクタベを
殺すことです

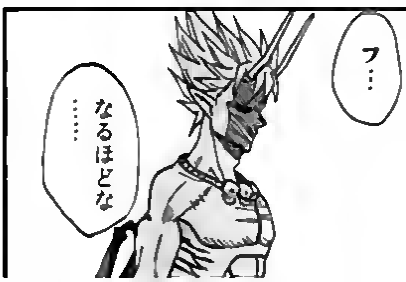


なん…やて?

ルシファー様に
真の力を
とり戻して
頂くため
あの男には
死んでもらわ
ねばならん

その為
内部事情に
通じたお前を
利用……
いやいや
あなたの
協力が
不可欠

今後もお力を
賜りたく
全てをお話し
した次第…

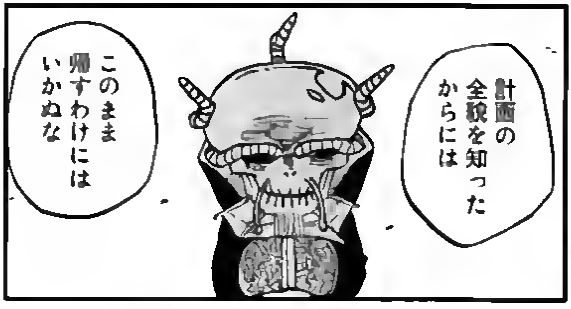

フ…
なるほどな
……

アクタベはんの
守りを
弱めるため
ベーやんとワシを
ぶつけた
わけか
左様で…

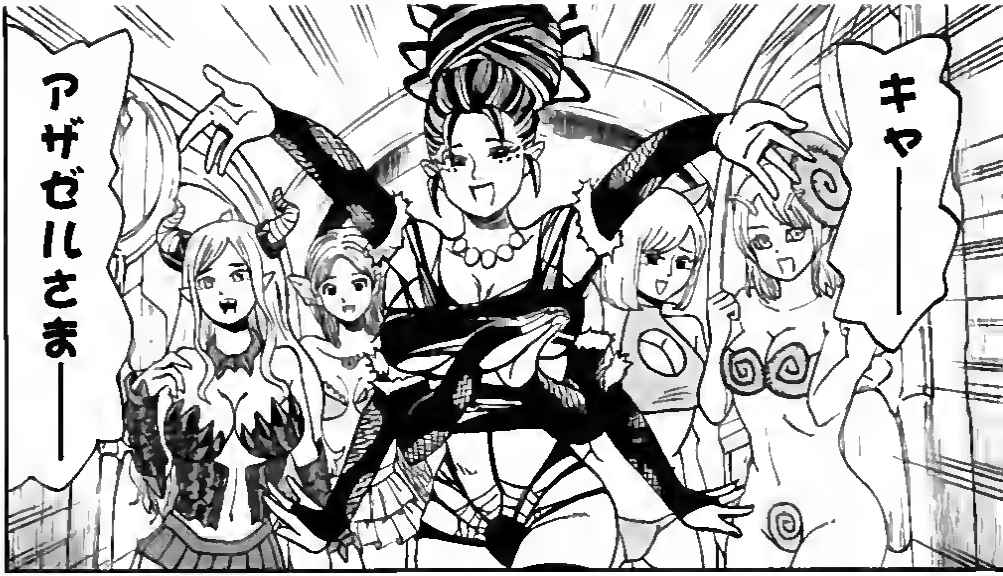
何!?
つまらぬ
ワシは
はぐれ狼
誰の指図も
うけぬ
ただ
風の吹くまま
気の向くまま
今回は
きまぐれに
ベーやんの一族を
潰してはみたが
これ以上
ここにおっても
この渇きが
潤されることは
なさそうや

さらばや
生きていれば
またどこかの
戦場で会う
やろう

待て
ゴゥ!!


計画の
全貌を知った
からには
このまま
帰すわけには
いかぬな

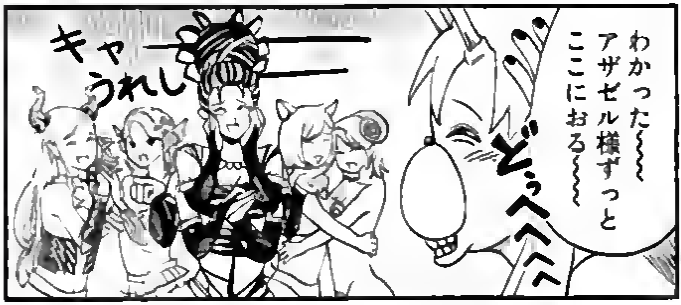
マズイ!
ワシを
殺す
つもりか!
パチ!


キャ――
アザゼルさま――

パッ
え!?

えぇぇぇぇ
どこ行っちゃうの～～～～
アザゼルさま～～～～ん
ちょっ
ちょっと最場がワシのことよんどってやな～～～
あれ！
イヤイヤずっとここにいてアザゼルさま～ん

うーん


わかった～～
アザゼル様ずっと
ここにおる～～～
どっくんくん
キャ――
うれし

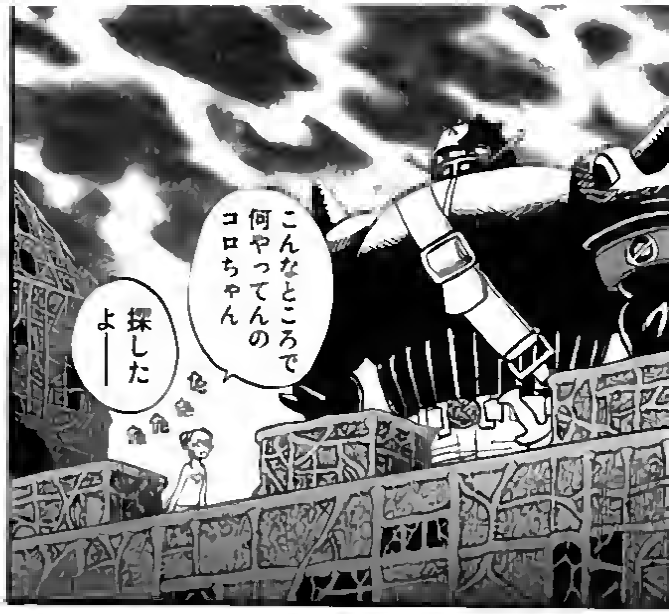
締て締て順番や
キャ――
キャ――
順番や

こんなちょろい色じかけにひっかかるなんて

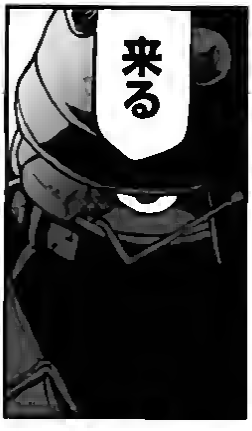
ここまでどうしようもねぇクズ野郎初めてだぜ!!

いや…
まてよ!?
あっし!?
!
よォ
久しぶり
じゃねぇか
元気
してたか
やっと
思い出して
くれはり
ましたな
あったりめー
だろ
てめーみてーな
くだらねー野郎
忘れるわけ
ねーぜ!!
……
キャッチボール
しようぜ
アッシ!
え!?
あ
いたいた

宴の準備ができたよ
みんな待ってるから行こ

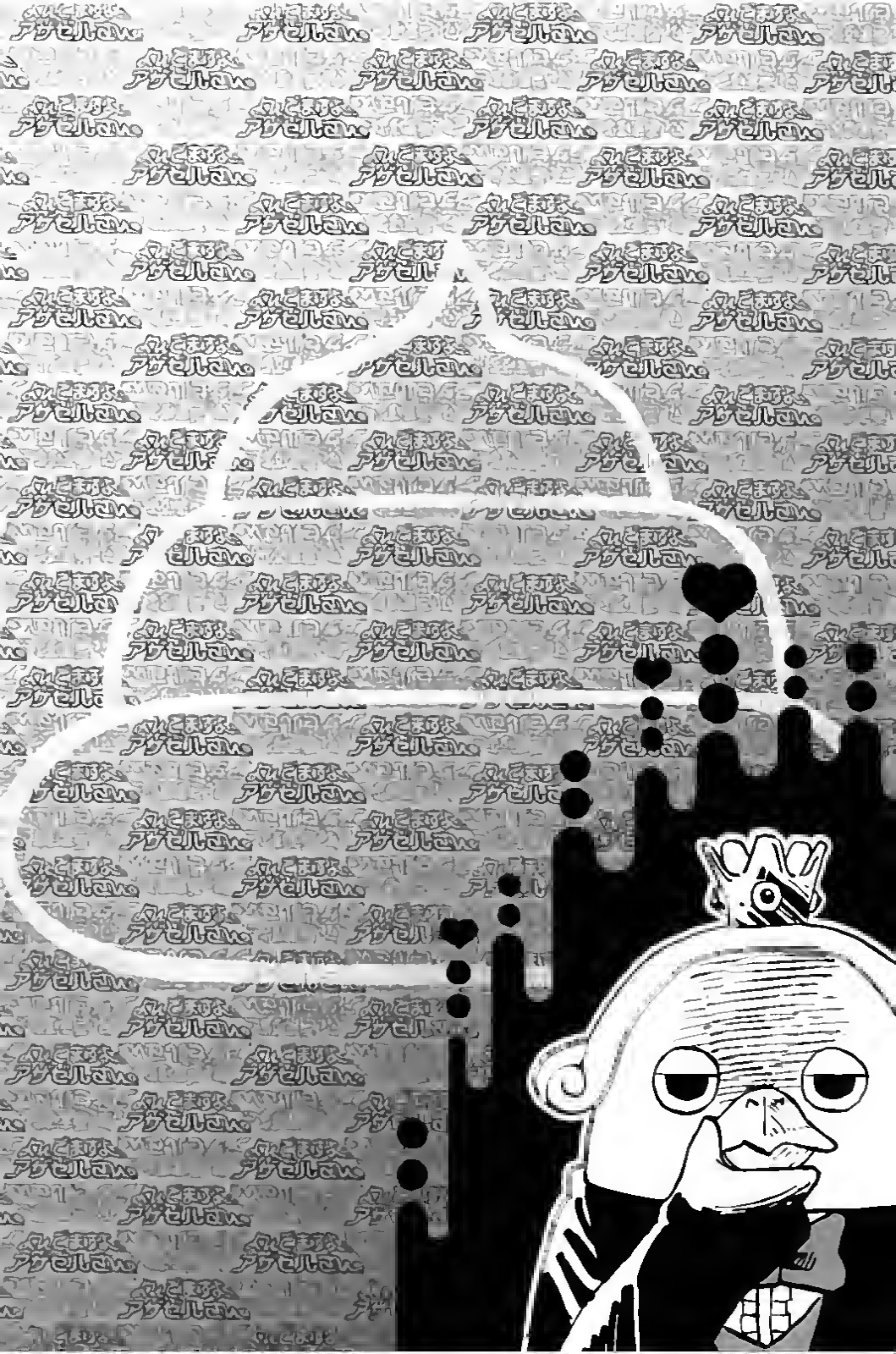

こんなところで何やってんのコロちゃん
探したよ——

まだ
終わってはいない
え？

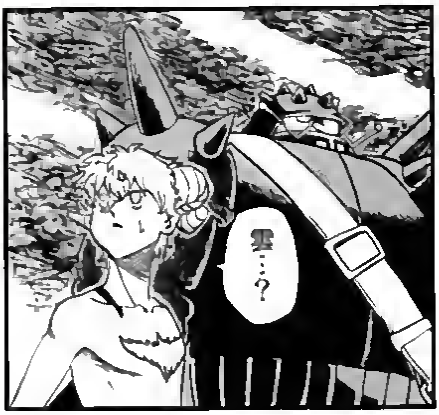

来る

ゴギャ
第110話 終わり

キャッチボールしようぜ
いや今ちょっと忙しいんで…



ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ


雲…？

来やがったな…
？

ざわざわ
ざわざわ

いくらベルゼブブ様といえどルシファー軍相手に一人で立ち向かうなんて……
ムチャだ

ベ…ベルゼブブ様!?

とんでもない軍勢をひきつれてきたようだ

いや…

第111話 蝿嵐

ドドド

ドドド

ハーッハッハッハッ

フハハハハハ

!?

さすがに
魔界の炎も
地獄の業火には
かなわねェか
ヒッヒッヒッヒ?

パチ
パチ
パチ
パチ
パチ

インキュバ
――ス
コロー
――
たたたた

さくま

カレー作りすぎたんですけど誰か食べませんか？？

15:43

グループトーク？

さくまさんからだ

☆弁辺探偵事務所

メンバー 9

今それどころじゃないんスよ

ゴオオオオ

おいキサマここは戦場やぞ誰とニャーニャーやっとんじゃ

死ぬぞ!?

あ…いや

ゴニャーゴニャー

ニャニ

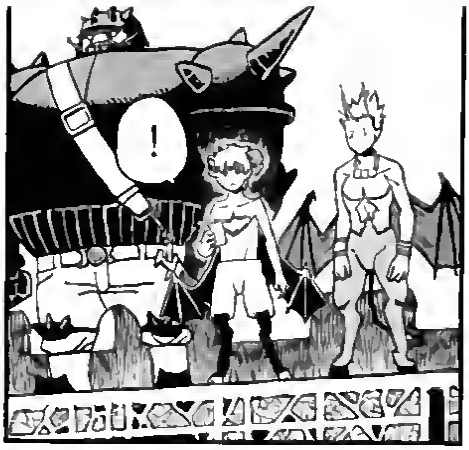
ベルゼブブ様

この度はカレー特集企画へのお問い合わせありがとうございました。文面を読ませていただきました。多くの美味しいカレーが食べられる日までお待ちしております。また、のお問い合わせをお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

ベルゼブブ様

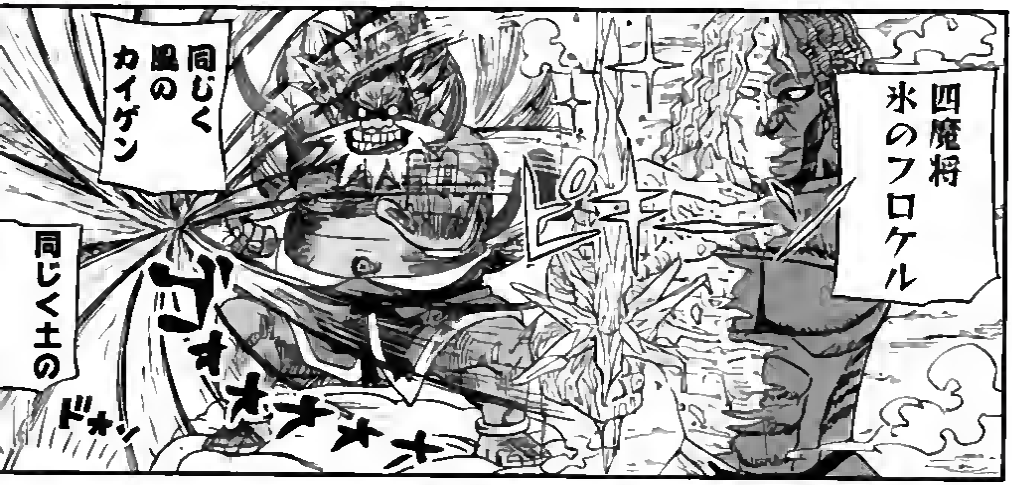
バカな…イフリート様と戦いながらこんな紳士的な文面をうったというのか…

あれ？……ていうかイフリート様は…？


！

あれ――
イフリート様
死んでる――

ザコを
倒して
いい気に
なるなよ


四魔将
氷のフロケル
同じく
風の
カイゲン
同じく土の
ドォン
ゴオオオオ

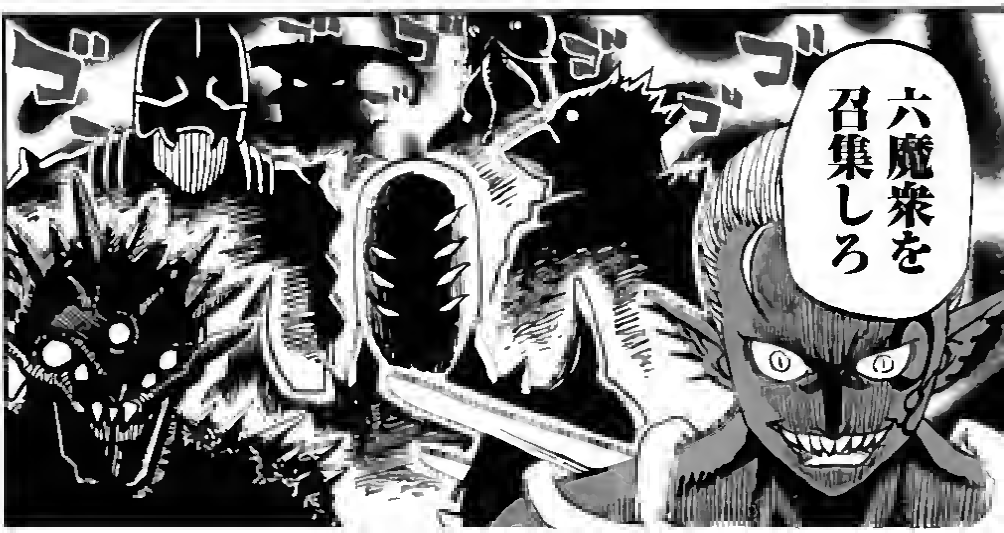
うけてみよ!!
氷結暴風
土弾!!

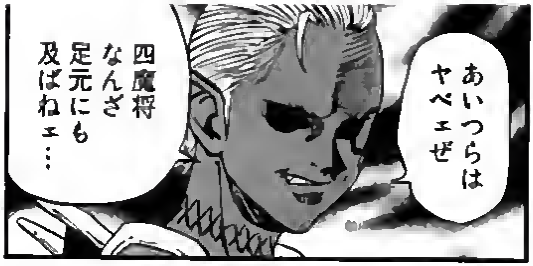
なにっ!?

四魔将が全滅だと!?

ここまでの強さとは…
この魔宰相ルキフグスの頭脳をもってしても読めなんだわ…

クックック あせるんじゃねェよ ルキフグス
おもしれェ

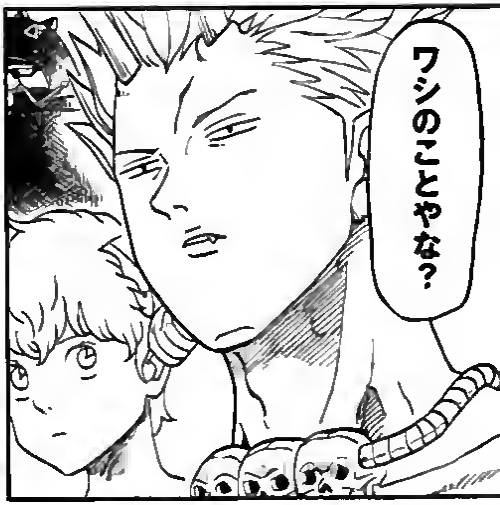

六魔衆を召集しろ

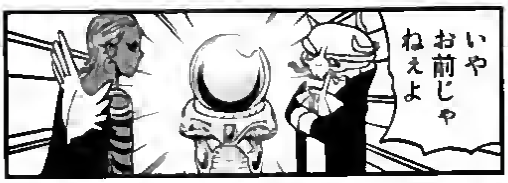


16魔団を
召集しろ
ゴゴゴ

あの男ならば…

あの男ならば
必ずや
ベルゼブブを
しとめてくれるで
ございましょう

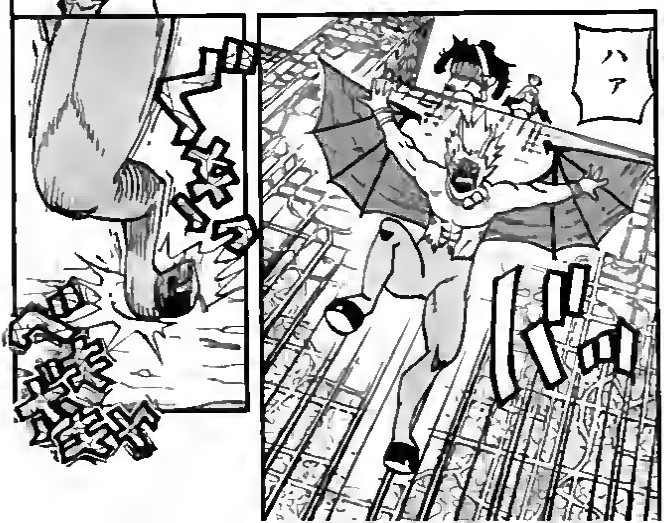

ワシのことやな?


いや
お前じゃ
ねえよ

あの怒りに
狂った
ベーやんを
止められるんは
このアザゼル嬢(じょう)史を
おいて他に
おらへん
無理だから!!

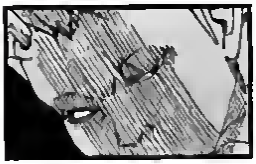
ワシの戦いぶり
しっかり目に
焼きつけとかんかい
オイ

はい
はいじゃ
ねえよ


ハァ
バリバリ

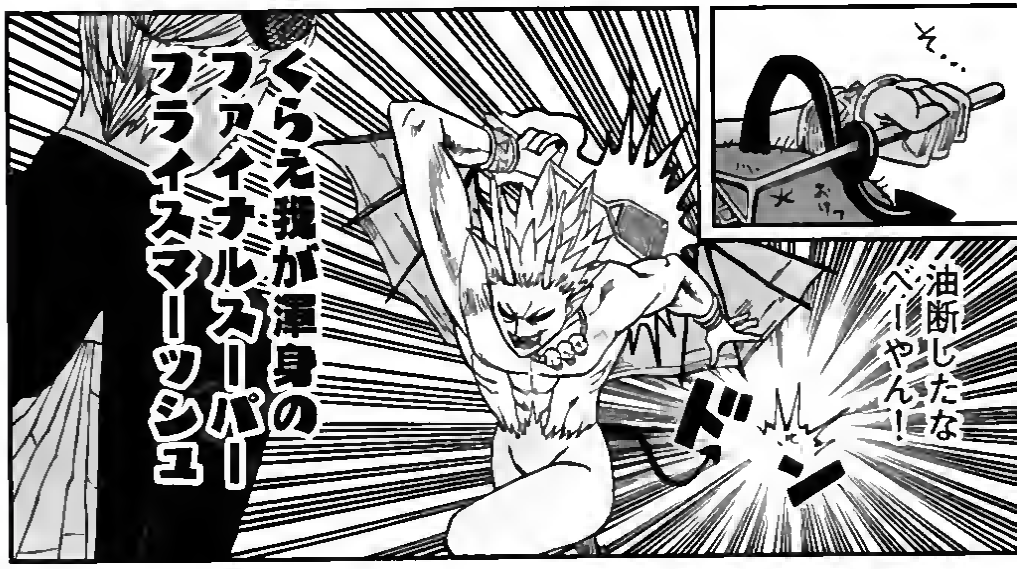
ギャアアアアアアアアア
あっ
アザゼルくん…キサマ!!
自分がなにをしたかわかっているのか——
ちがう!!誤解なんや!!
ピタ
!?
じつはワシアイツらにけったいな術をかけられとったみたいでな…
どくん どくん どくん
きっきようやく我にかえったところなんや
ズキ
ぼう

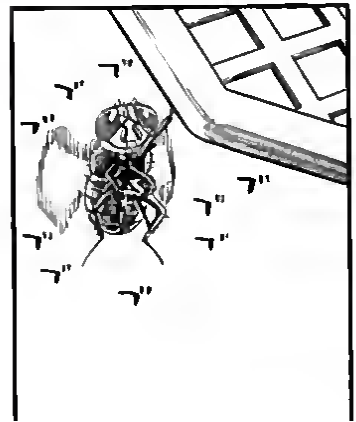
アザゼル君……



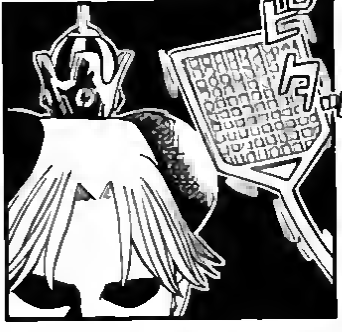
許してくれ
ベーやん……

しかし
操られていた
とはいえ
ワシはとんでもない
過ちを……

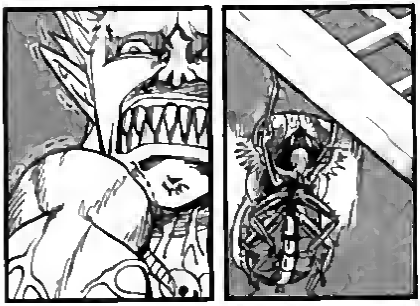

くらえ我が渾身の
ファイナルスーパー
フライスマーッシュ
油断したな
ベーやん！
ドン



な…

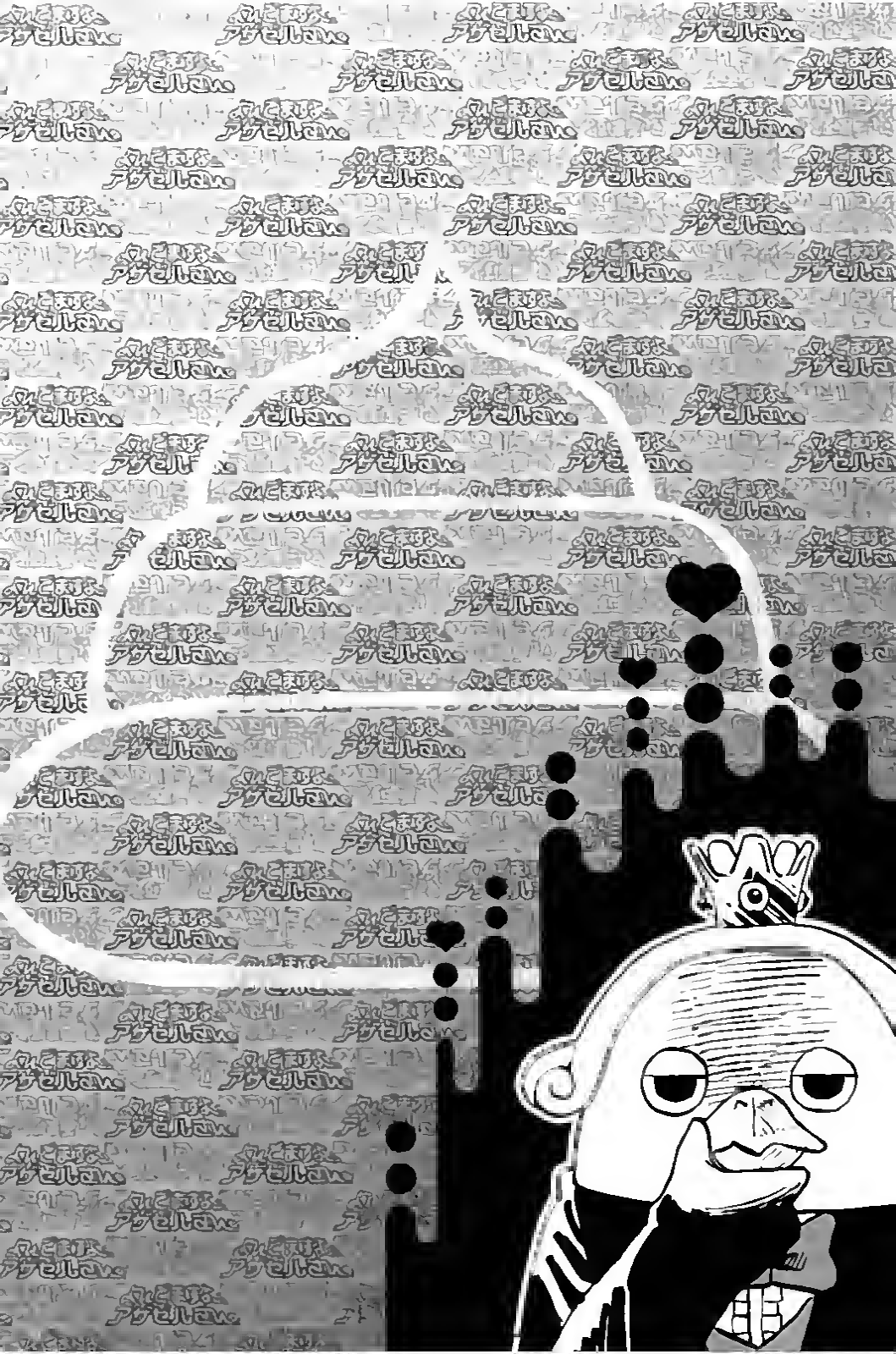


なにィ――
すたすた
すたすた
ぐぬぬぬぬ
手をはなせ
キサマァー
優一様には
指一本触れさせん!!
どこだ
どこにある
あれだけ大量の糞便
隠しておく場所もそうはあるまい
優一様
あちらを
糞シェルターか!
どうりで我々のセンサーに反応がないわけです
時間がない
急ぐぞ
ハッ
待て



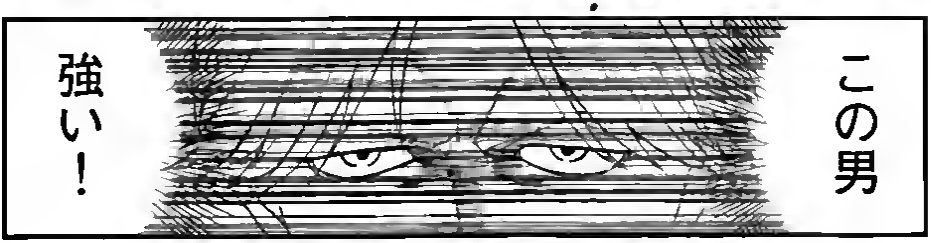
第111話 終わり

絶対王朝な皇家を敷いてやろう
まずはお布団一式しか
つこてへんのぢゃ
ヌゥ～



ビチャ
うっ
愚か者め!!
それしきの糞便もよけきれぬとは
戦場で生き残れると思おてか!
ご…ごめんなさい父さん…
忘れたのかフンガスよ
その昔キサマらの一族は村を襲った大糞便流によって死に絶えた
糞便は憎むべき敵
命を脅かす脅威

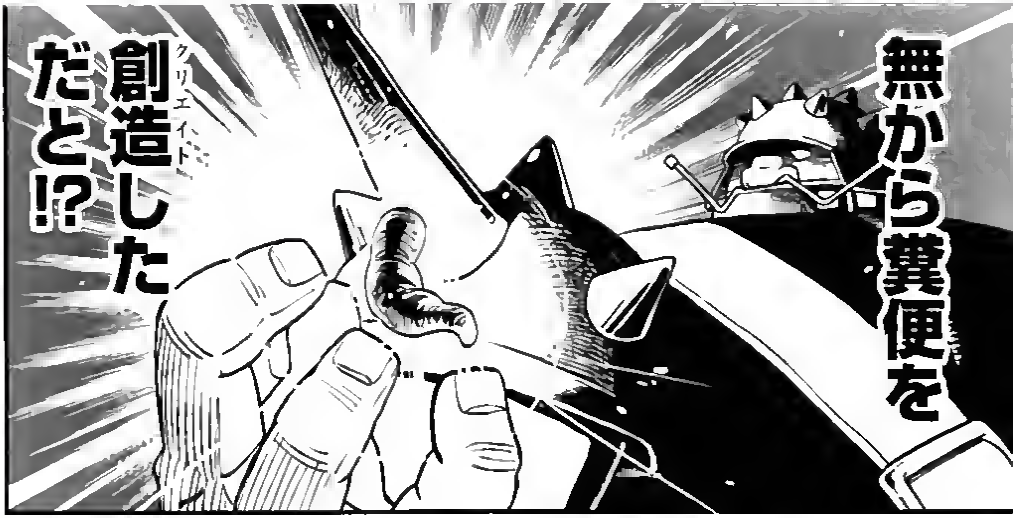
第112話 糞闘士（クソディエーター）



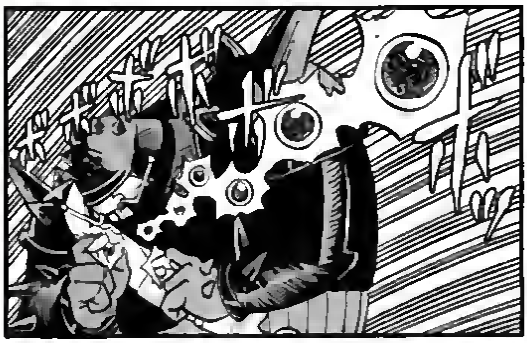
言葉を
交わさずとも
ベルゼブブは
確信した！

この男こそが
同胞を傷つけ
糞便を奪った
兇賊（きょうぞく）
コロフンガス
であると!!

糞便とは
動物の尻の穴より
出ずる
ぼとっ
固形の排泄物
であるッ!!
なっ
ズ…
ズズズ

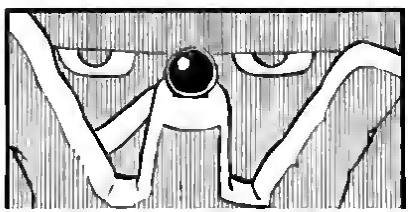

無から糞便を
創造(クリエイト)した
だと!?

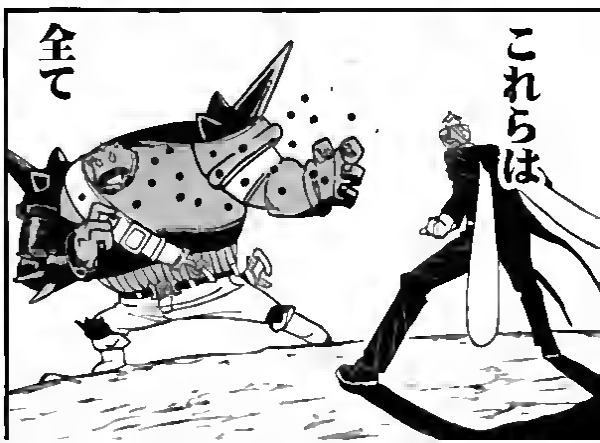
ギュルルルン

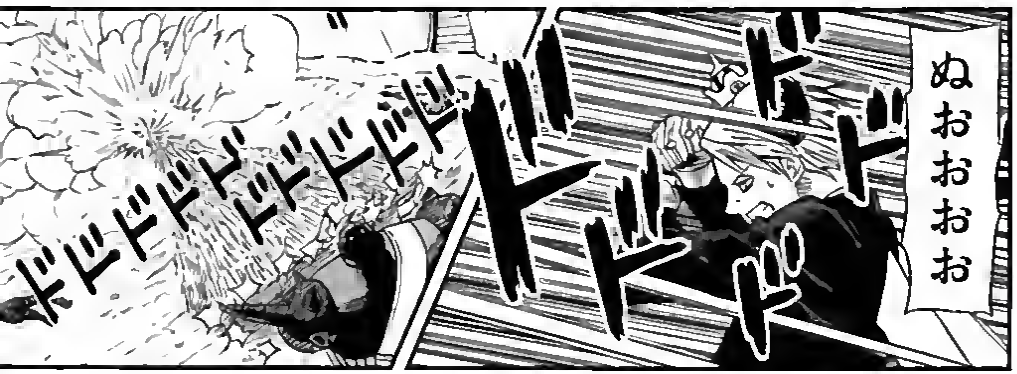

ボボボボボ

うんこ
うんち
パパ
大便

くっ




これらは
全て

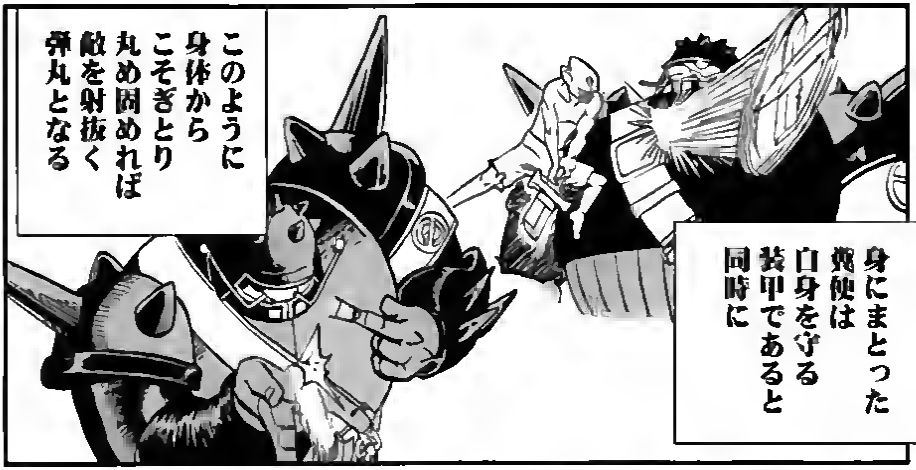

ぬおおおお
ドドドドドドドド

いかな悪魔といえど
無から糞便を
作ることは
できない

幼い頃から
糞闘士として
特殊な訓練を
うけてきた
コロフンガスは

平時であろうと
24時間糞便を
身にまとい
生活している

身にまとった
糞便は
白身を守る
装甲であると
同時に

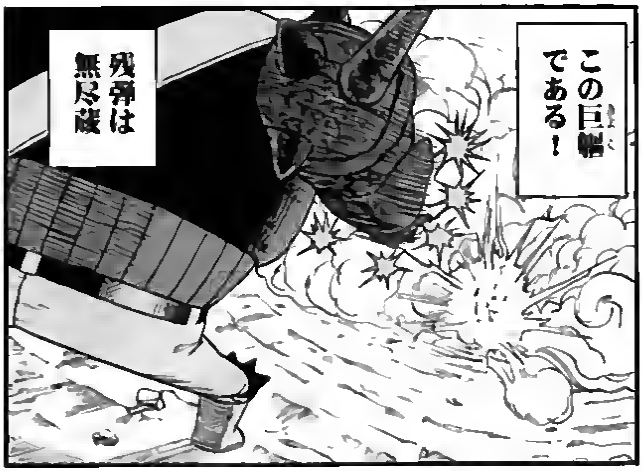


このように
身体から
こそぎとり
丸め固めれば
敵を射抜く
弾丸となる

その体表を覆う
糞便の厚みは
実に57ミリ！

この巨幅
である！

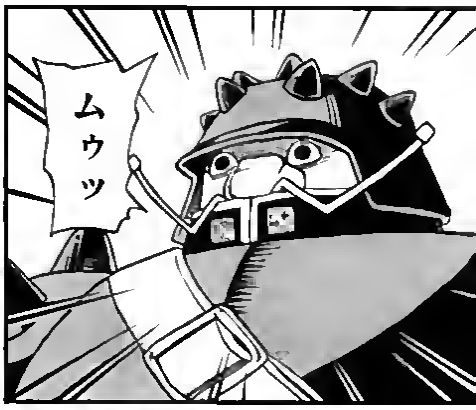
残弾は
無尽蔵



敵をしとめるまで
糞便は尽きない
ドドド

すごい…
殺ったか…？

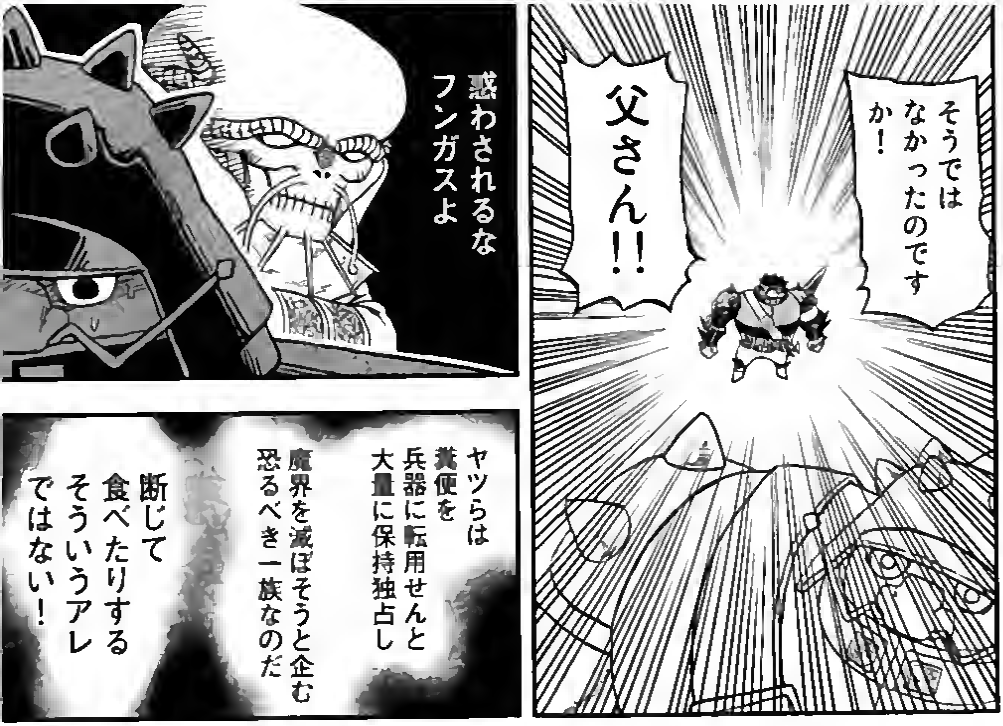
どうした
これで終わりか


ムゥッ

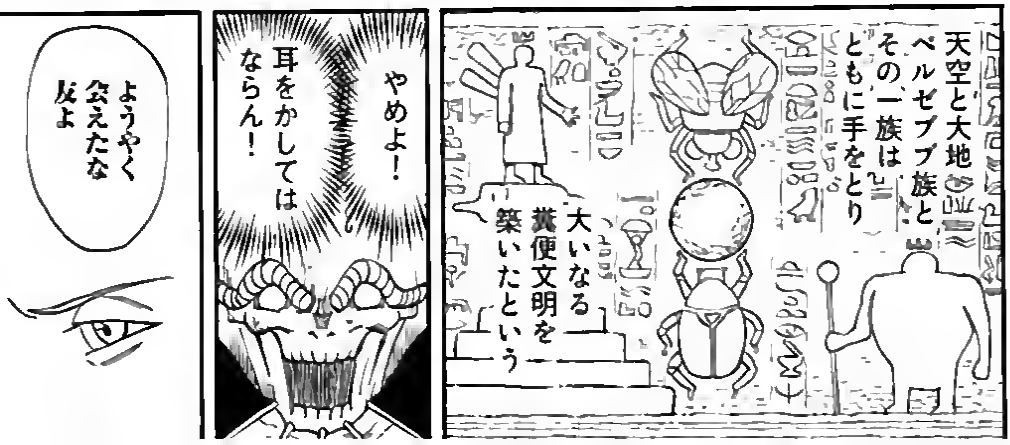
バカな…効いていない!?
オレの転糞百便連弾(ころふんひゃくべんれんだん)が…

この男…
今 何をした…？
もうやめろ
コロフンガス
私はそなたと
戦うつもりは
ない
ふざけるな
ここは
戦場だぞ
なぜ
糞便(ファン)を
とらん！
ニードル
糞便
くらえ
愚か者め
糞便は
戦いの道具
などではない

食すものだ
!?
バシン
食べる…?
食べるだと!?
バカな!!
貴様は戦いの道具!
命を奪う殺戮兵器!


そうではなかったのですか！
父さん!!
惑わされるなフンガスよ
ヤツらは糞便を兵器に転用せんと大量に保持独占し魔界を滅ぼそうと企む恐るべき一族なのだ
断じて食べたりするそういうアレではない！

かつて我がベルゼブブ族に並び
栄華を誇った勇猛なる糞の一族があったと聞く
？


天空と大地とベルゼブブ族とその一族はともに手をとり
大いなる糞便文明を築いたという
やめよ！耳をかしてはならん！
ようやく会えたな友よ

そなたこそ
その一族の
生き残りなのだ
コロフンガスよ
デタラメだ!!
そのような一族は言い伝えにすぎん!!
ビッ
でたらめではない
糞便に祝福された一族の王の体には
糞便形のアザが現れる
ある!
うんこのアザが!
それこそが証
まさしく王の血脈
食(しょく)してみよ
!?
一口でよい
そなたにならわかるはずだ
う…
誇りをとり戻すのだ

ならん
フンガスよ
それを食せば
キサマが
キサマでなくなって
しまうぞ…!!
黙れ
ルキフグス
糞便を悪用せんと
企んでいるのは
キサマの方では
ないのか
なっ
糞便とは
ただの
うんこでは
ない
糞便は
とてつもない
エネルギーを
秘めた
物質なのだ
うんこ…
うんち…
ババ…
大便…
またの名を
暗黒物質
ダークマター
!!
くっ…
まさか
そんな…
ダーク
マターが
うんこだった
なんて…
人間界では
ただの糞便に
すぎないが
長時間
魔界の瘴気に
さらされることで
ダークマターへと
変質する

えっ
じゃあ
ベルゼブブ族が
うんこを
食べてるのって
まさか……！

うむ

魔界のバランスを
保つためだったのだ
ダークマターが
発生するのを
未然に防ぐため

マジっスか…

しかし
その均衡は
破られた

あれだけ
大量の糞便が
ダークマターに
転じれば
恐ろしいことが
おきるだろう

何を企んで
いるのだ
ルキフグス

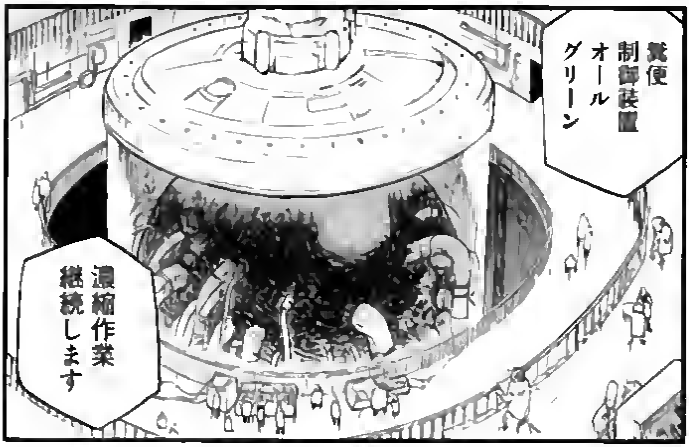
ぎゃー

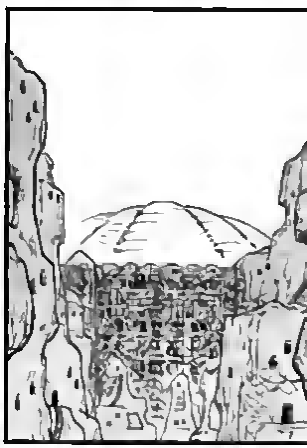
!?

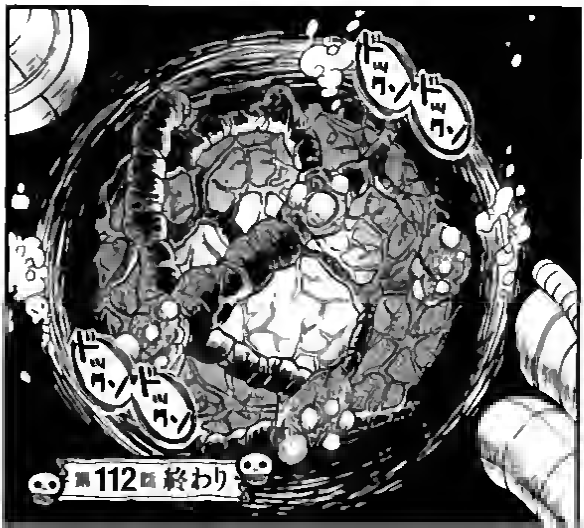
ブブブブブ

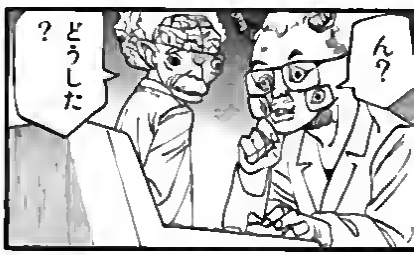
タイチョ――!?
くっ…
まだ勝負はついて……
ついてるよ
ハエ一匹になにやってんスか！
戦え!!
よいのか
戦わねば
また仲魔を
失うことに
なるのだぞ!!
だまされるな!!
これは
ルキフグスの
策略だ！
誇りを
とり戻すのだ
コロフンガス
王よ!!
うわあああああ
コロちゃあああん
ビチビチ
ビチビチ
コロちゃあああん

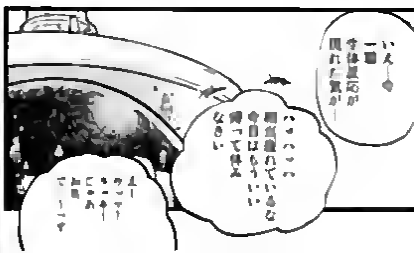
戦え!!
食せ
コロちゃあああん
ナメるだけでもいい!!
コロちゃあああん
オレは…
どうすればいいんだ
コロちゃあああん
助けてコロちゃあ
ああああん
オイお前はテレパシー使うな!!
ルル
やかましいがっ!


貧使制御装置オールグリーン
濃縮作業継続します

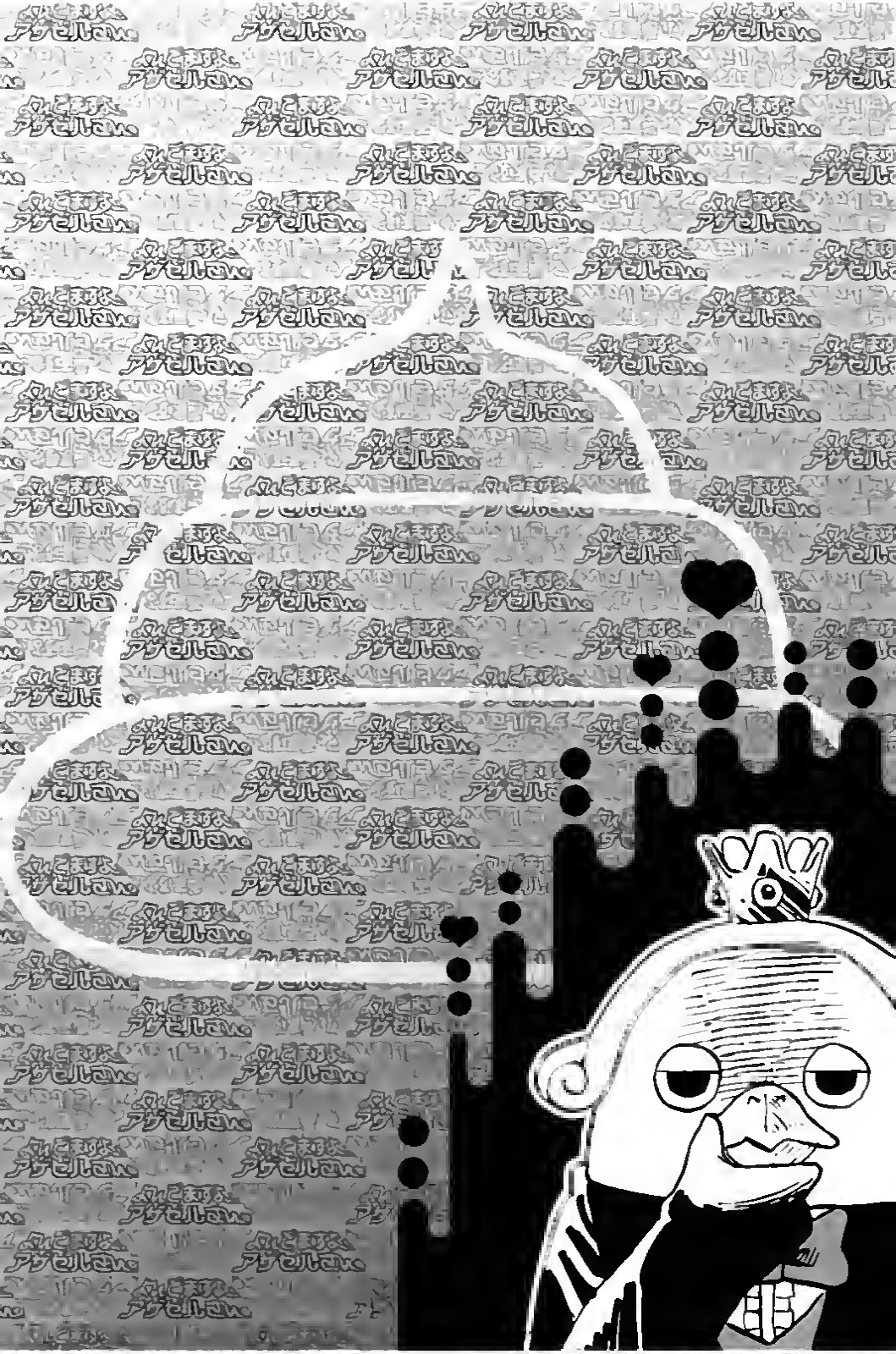



ドゥン…ドゥン
ドゥン…ドゥン
第112話 終わり


ん?
どうした?



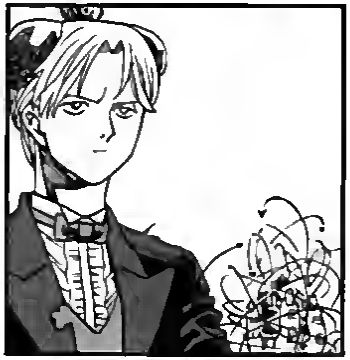
大きなうがおいしく
頂きました

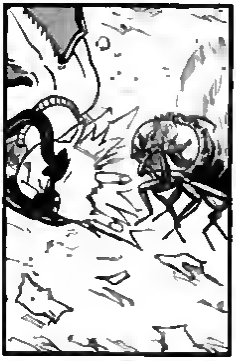


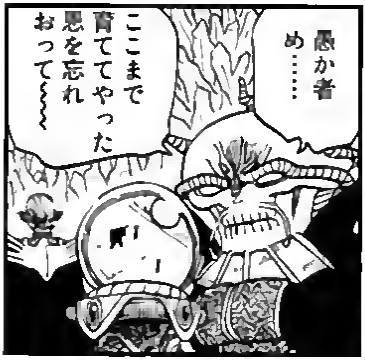
うっ……
うう……
……
第113話
爆誕!謎の
糞便生命体!!

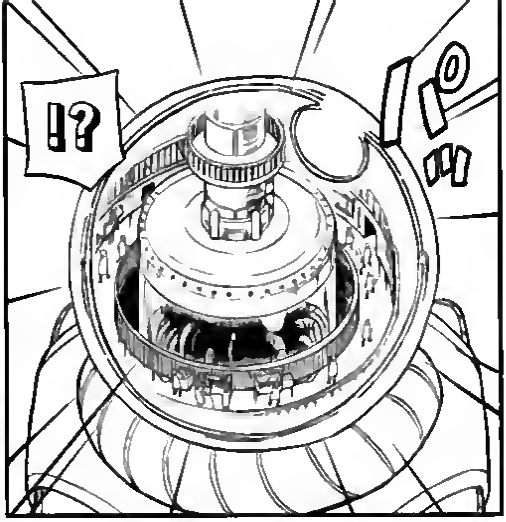
オレは
……
オレはいったい
何者なのだ……

糞便とは
何なのだ
～～～
コロちゃん
……

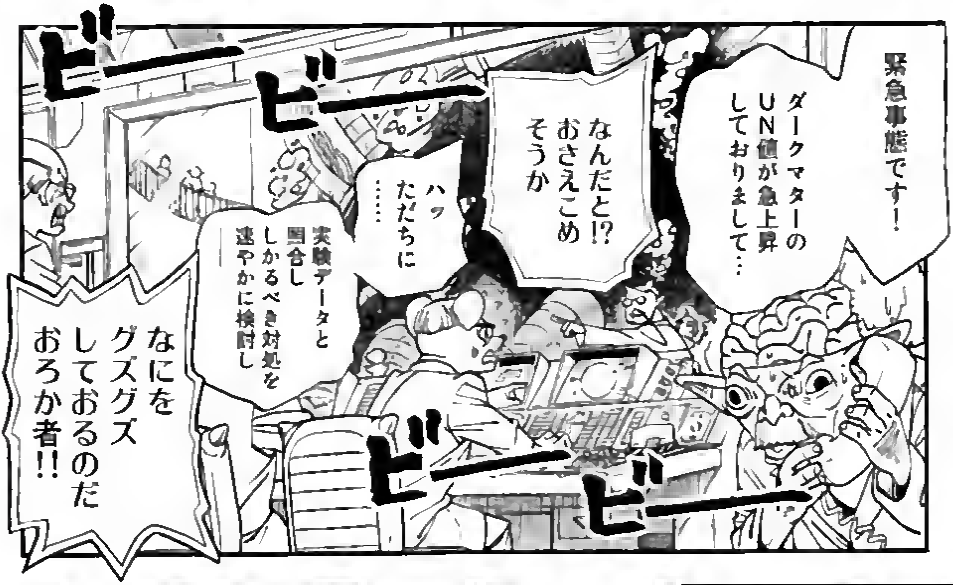




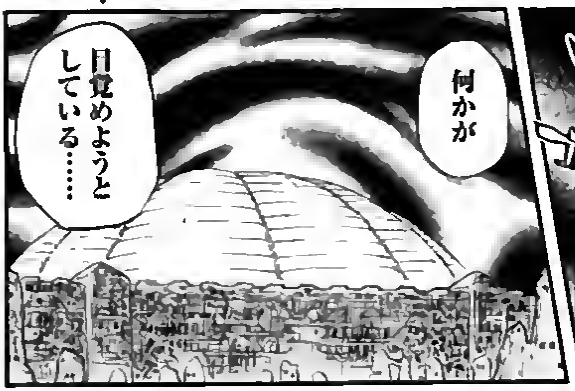

愚か者
め……
ここまで
育ててやった
恩を忘れ
おって～～～


!?
パリ

ルキフグス様
どうした
何事だ
ビービー


緊急事態です！
ダークマターのUN値が急上昇しておりまして…
なんだと!?
おさえこめ
そうか
ハッ
ただちに
……
実験データと照合しかるべき対処を速やかに検討し
なにをグズグズしておるのだおろか者!!
ビービー
ビービー

ゴゴゴゴゴ
何だこの魔力は
……

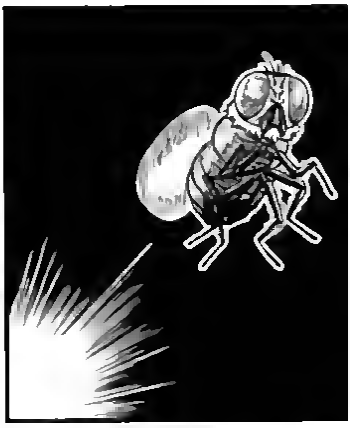

何かが
目覚めようとしている……

いかん！
くいとめねば
ガッ
!!
ドロ
逃がしはせんぞ
優一様ー！！

しまった！

ヤツが……

ヤツがいない！



バ バカ者ー!!

あの男を行かせてはならん

なにか絶対に余計なことをしでかすぞ

即刻捕らえて拘束しろ!!

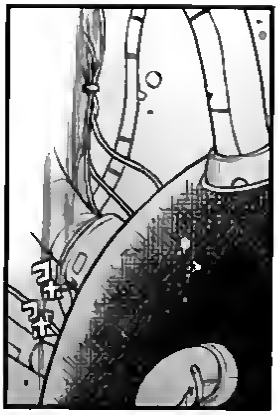
しかしタイチョーは既に手負いシカトしておいても問題はないのでは…

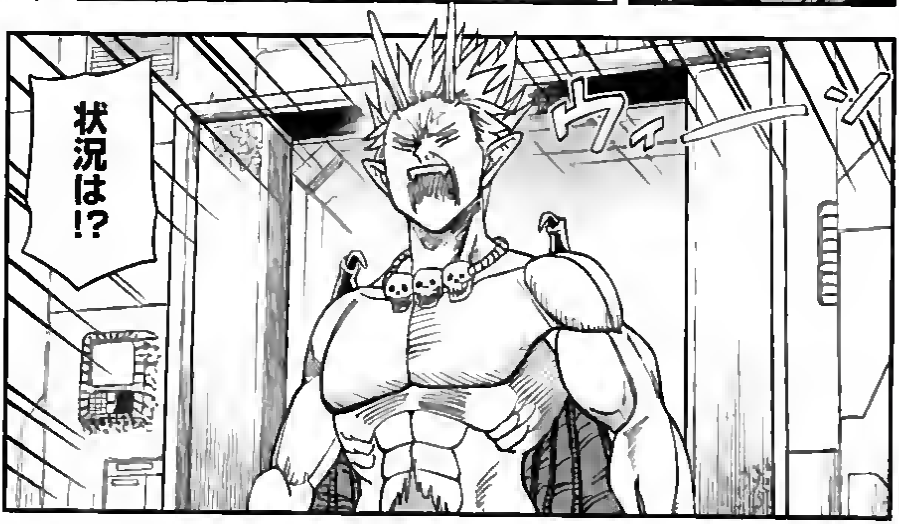
あのアホを見くびるな！ことが起きてからでは遅いのだ

早く行け！

はいはい

なんとか危機はのりこえたな
キミたちは魔界を救った英雄だ
まだまだ油断は禁物ですよどんなトラブルが起きるかわかりませんからね




状況は!?

これはこれは環境大臣どの
状況は!?

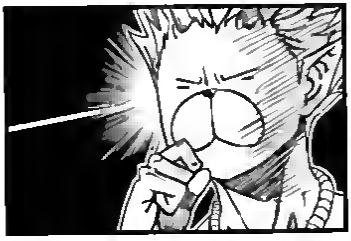
先程中和剤を注入しまして状態は非常に安定しております
……なるほど
つまり状況は!?
え――いや ですから大丈夫ですので……

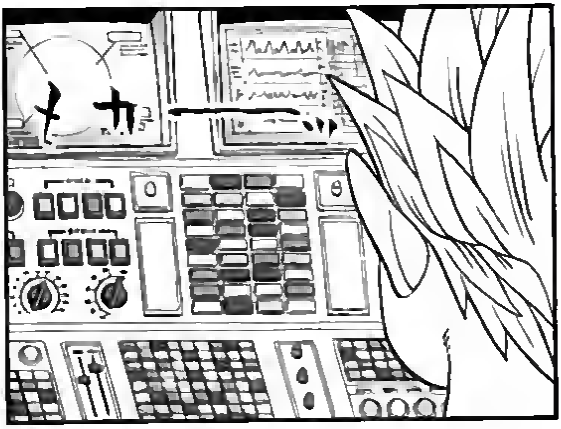
大臣チェックや
邪魔せんといてくれるか

ちょっ！大臣なにを!?
ガッ
す…
なるほどな…ここでアレをアレしとんねんな……

てゆうかワシの出世にひびくんや
てゆーかキミらこんだけハゲとメガネがそろってなんでこんなヤバイことになっとるんや…わかっとんのか?
ひとたび事故がおこれば何万人の命が…

退いてくれ
ワシがやる

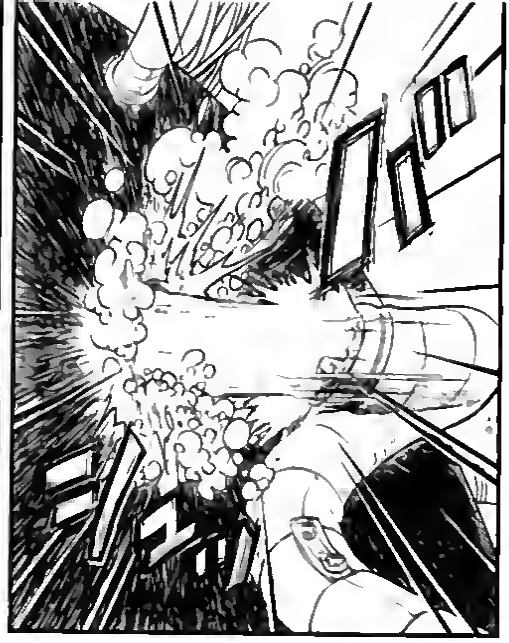


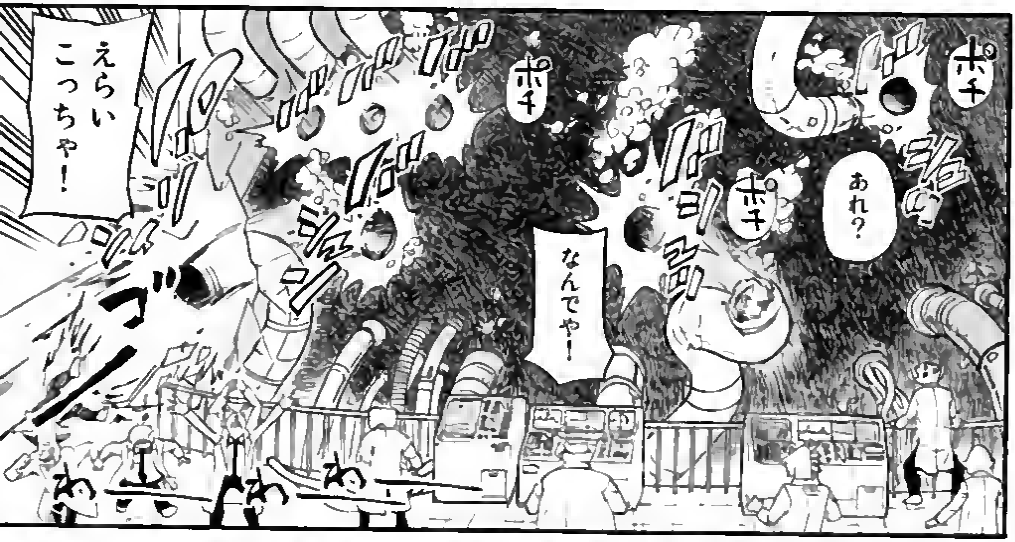

メカ

そ～…

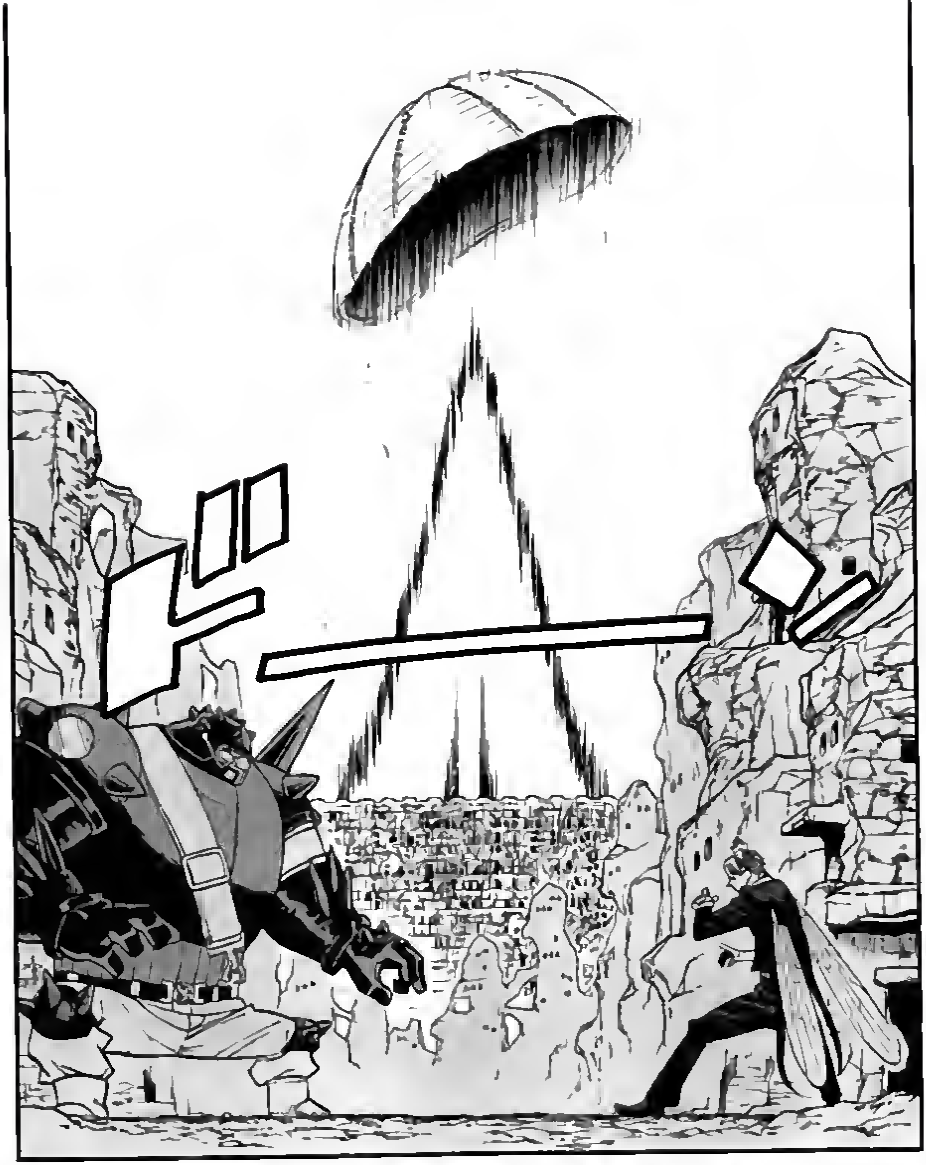
ハァ――
メインバルブが――

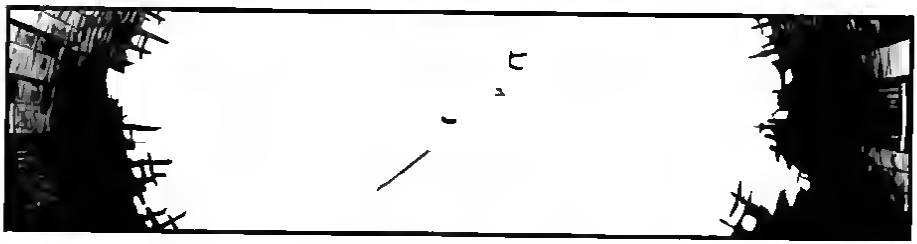
ドンマイ！
大丈夫や
一本ぐらい
よっしゃ
今のでだいぶ
感触つかめて
きたで

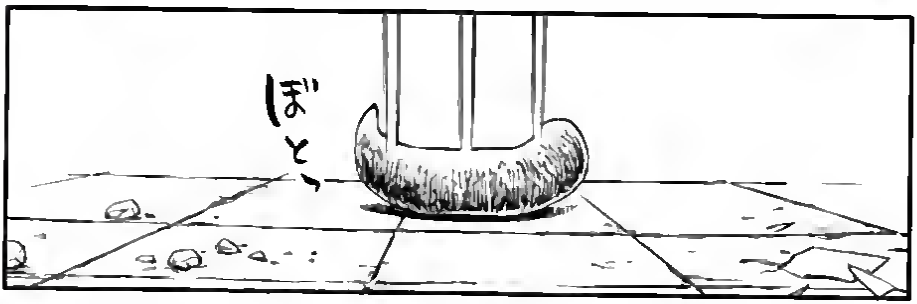


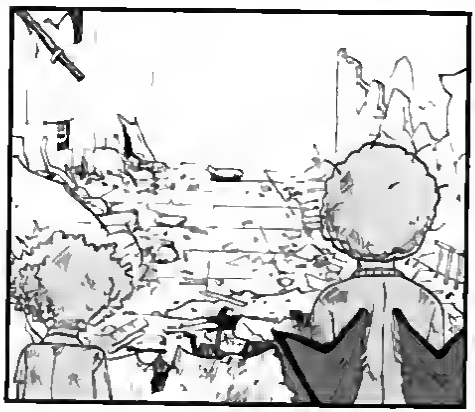

ポチ
ポチ
ポチ
あれ？
なんでや！
えらい
こっちゃ！

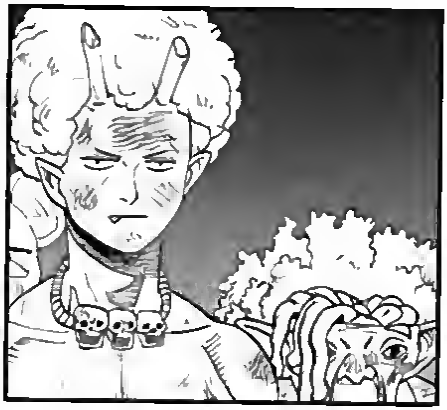
おい
Bボタン
どれや
え？
キャンセル
え？
キャンセル
したい
ファミコン
感覚で
いじるの
やめて――
ダメです
センター長
業界突破
します

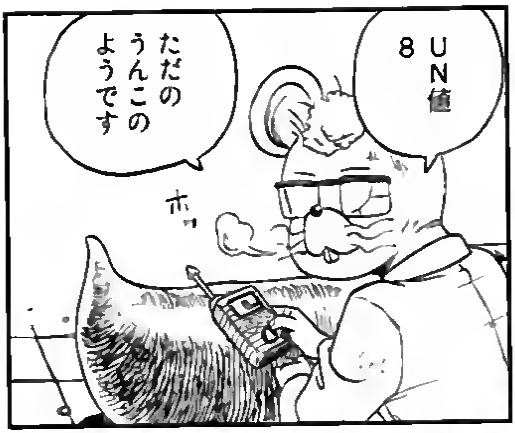

ドゴ

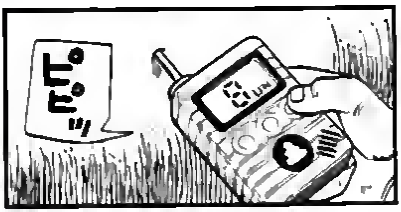



ぼと

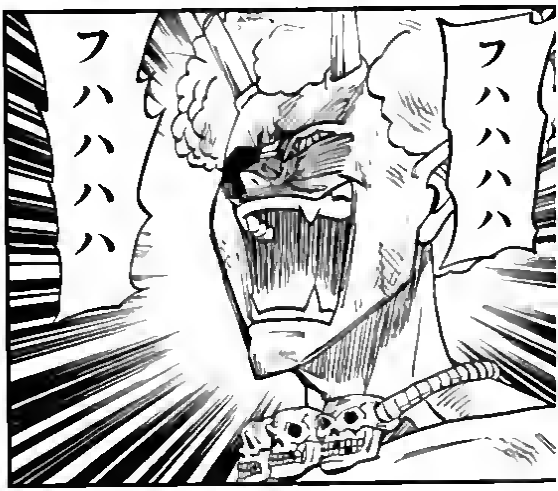




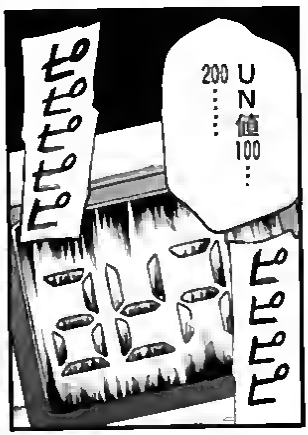

UN値
8
ただの
うんこの
ようです
ホッ


ピピッ

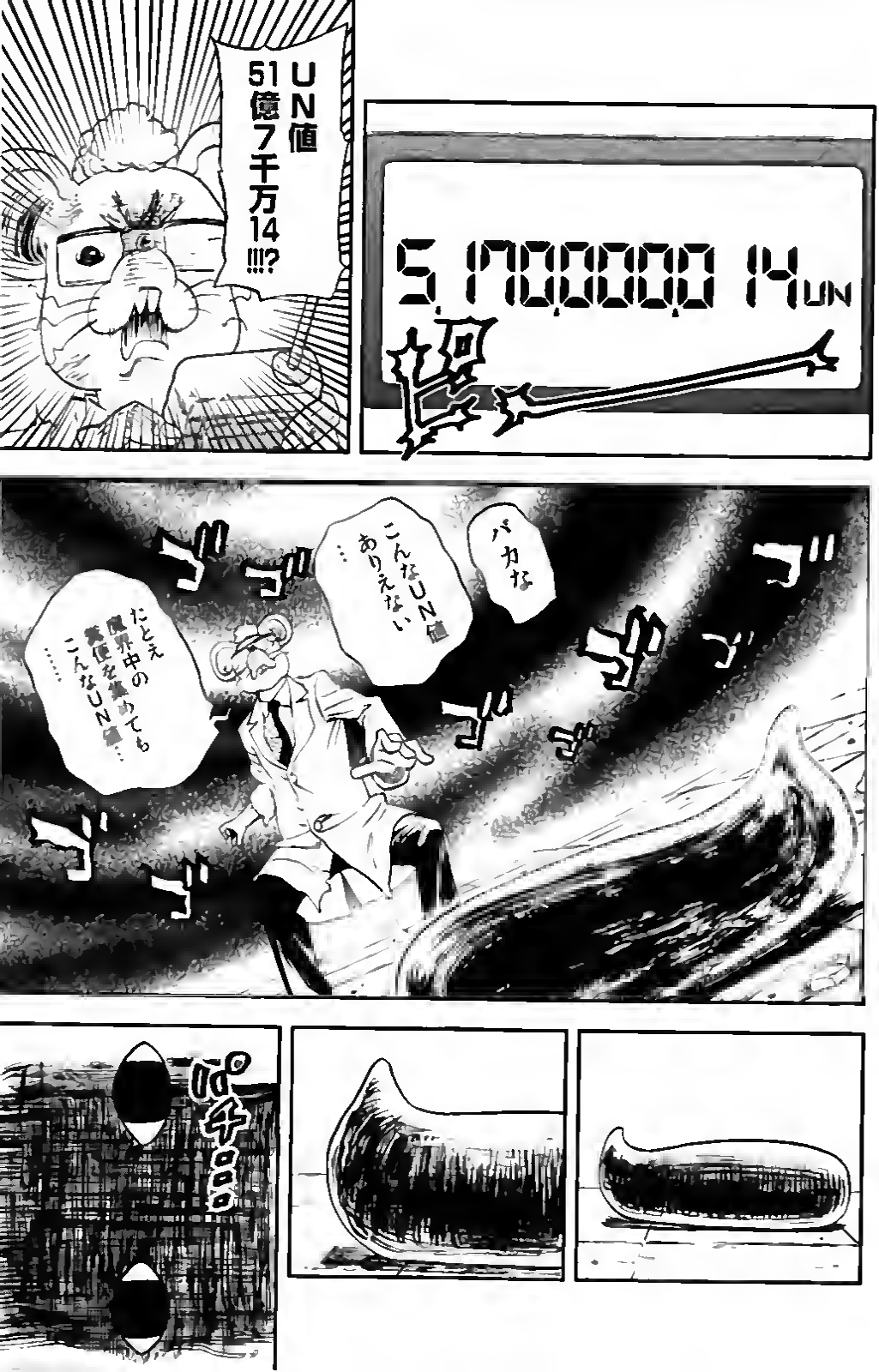
うんこよ
うんこ
キサマら
うんこ相手に
何をびびって
おるのだ!


フハハハハ
フハハハハ

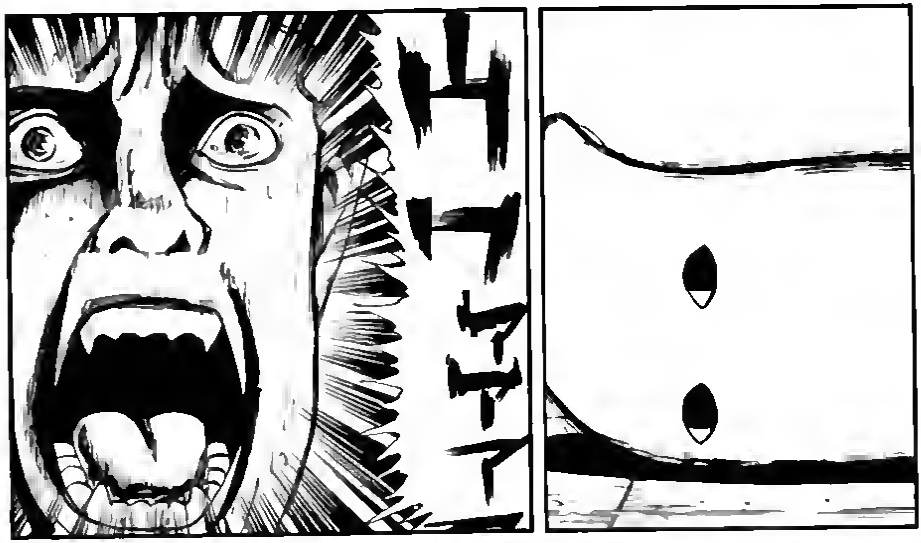
ピピピピピ
?


ピピピピピ
UN値100…
200……
ピピピピピ

バカな…
まだ上がって
ゆくぞ…


UN値
51億7千万14
!!!?
5,170,000,014UN
バカな
こんなUN値
ありえない
……
たとえ
魔界中の
魔使を集めても
こんなUN値…
……
ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
ぷよ…

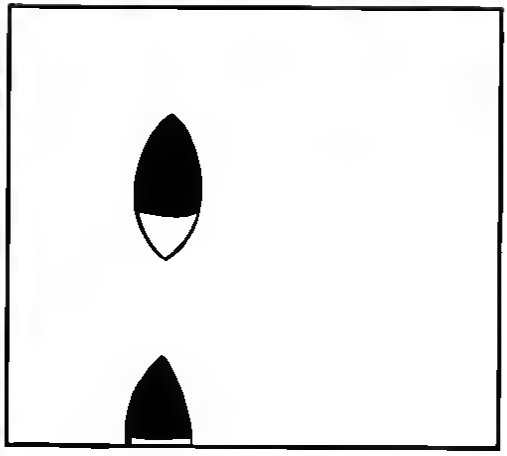
どないした
ブルブルブル
ダダダダッ
ウワーッ!!


ウアアアー

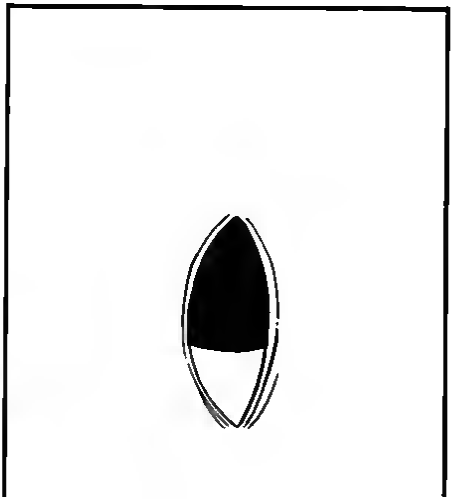
見ている
我々の
ことを
見ているぞ…

なにを見とんのじゃコラァ
おまえはうんこやぞ
こっちを見るなあ

なんじゃその目つきは



やるんやったらやったんど
かかってこんかいクソが――!!

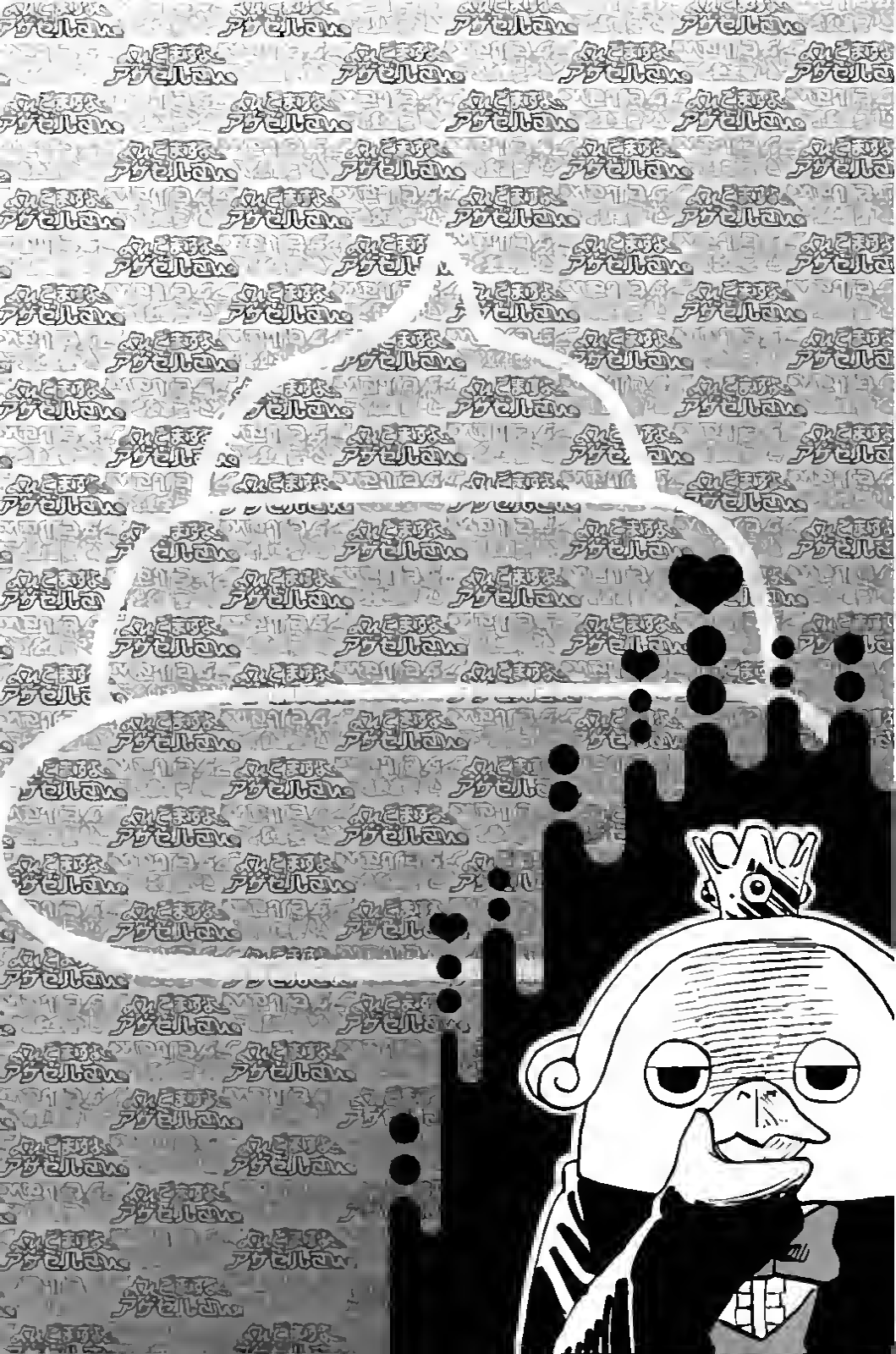


ほほってくれ〜〜〜
こしが…こしがぬけたく〜〜〜〜
アアアア

キャアアアア
ネズっち!?
ギュアアアア
!!
ヘ

ぞりぞり
ぞり
ぞり
？
……
ぞりっ
ゾイゾイ
ゾイ
ゾイ

オカンみたい


ん、こまりな、
アゲセルさん。

なんてひどい
あり様だ
あの爆発…
きっとタイチョーが
何かやらかした
んだ…

インキュバスさん
こちらから
中に入れそう
ですよ
ハエさん

!

第114話

死闘！ルシファーVS.始まりのうんこアダム!!

もしもし
しっかり
して下さい
大丈夫
ですか？

だめです
やはり体内には
一片のクソも
残っては
いません
でした

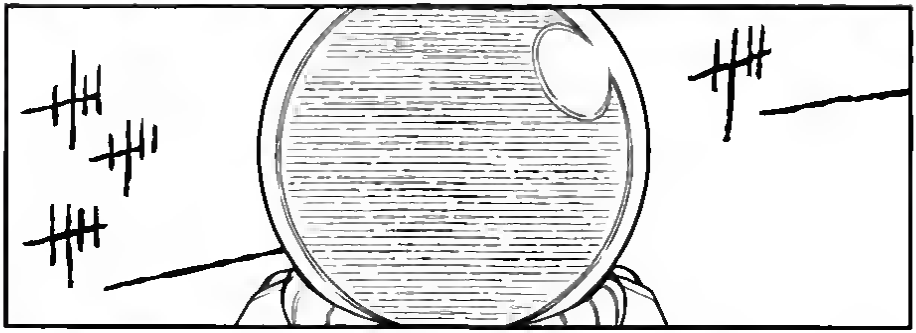
よいしょ
よいしょ

このフォルム…
この存在感…

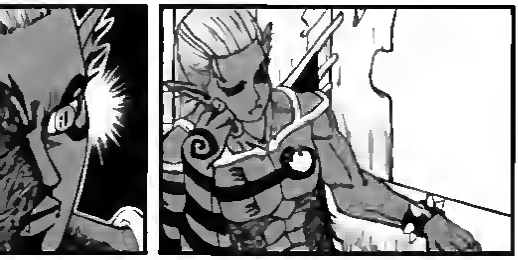
いや
糞便だけじゃ
ないっス
この肉体は
完全に抜け殻
うんこと一緒に
大事な何かを
失ってしまった
ような……

そう！
まさに
うんこ！
この悪魔は
うんこになって
しまったんス

恐ろしい何かが
始まろうと
しているっス…

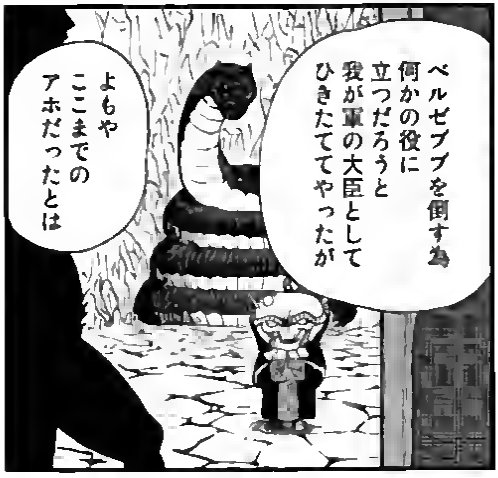


何事だ!!
強力な
ジャミングで
何も見えぬ…!!



ルキフグス
害がきた
みてぇだぜ

アザゼル
キサマ…


ベルゼブブを倒す為
何かの役に
立つだろうと
我が軍の大臣として
ひきたててやったが
よもや
ここまでの
アホだったとは

去れい
!!
二度と
その顔を
見せるな!

こっちこそ
環境大臣なぞ
願いさげよ

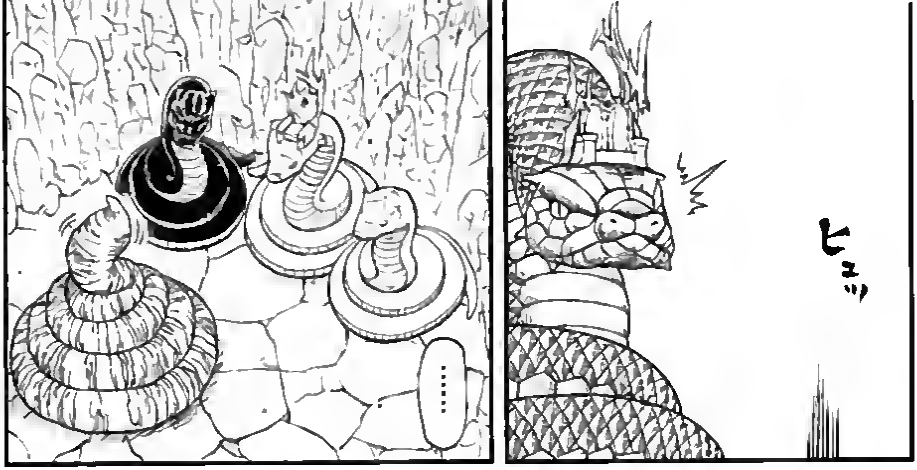
糞便こそ
至高
キサマら如きが
大いなる
糞便を
支配できると
思ったか

離れろルキフグス
そいつは
アッシじゃねエそ
えっ
ブピピッ
ピピッ

何だてめぇは…
ぐちぐちぐち
我はアダム
始まりのうんこにして終末の糞便なり
排泄せよ
肉の体を排泄しクソとなるべし

ぶり
ぶりっ
ぶりぶり
ぶりっ！
お〜〜〜
なんだこれは
〜〜〜〜
全てが混ざり
溶け合い
一つになっている
こんな…あ…ダメ
ぶりぶり——
はあ——!!
な？これ
たまらんやろ？
ハァハァ
サイコー
さぁ
ルシファー!!
アンタも
アダム棒に
糞便を
掃げるんや!!
FUCK
オレ様の
うんこは
オレ様のもんだ
誰にも渡さねェ
3秒だ
3秒で全てを
終わらせて
やるぜ

多分衛生的に
無傷では
すまない——と
てめエに
ゆずって
やるぜ
1
いいだろう
この獲物は
ベルゼブブ
……
このうんこ
まるで
スキがねエ
3
このうんこは
強え……マジで強え
だがオレ様は
魔界のカリスマ
ルシファー様だ
パワー・スピード・能力
全ての面で
このオレ様の方が
完全に上
2
闘えば
超絶圧倒的強さで
このオレ様が
勝つだろう
しかし
ルシファーは
思った


……
ヒュッ

うわあああああああ
ボボッ

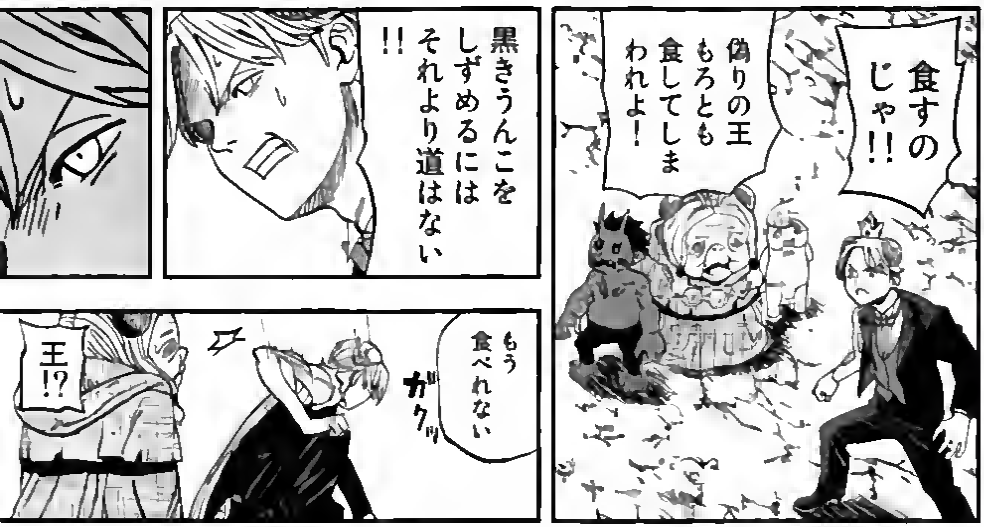
ゴゴゴゴゴゴ
おおo

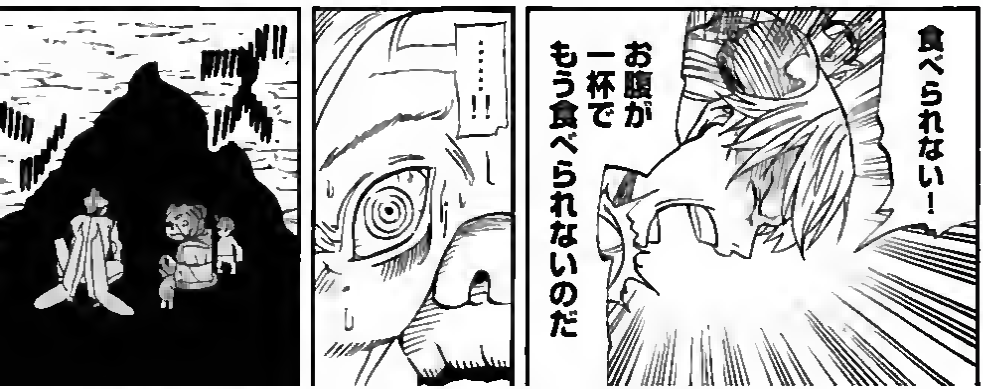
ファファファ
糞便を納めよ
コロフンガス
今は我々が
争っている
時ではない!!
だまれえ
!!
くらえ
ロケット
ウンチ
ぱくっ
重い…
なんて
重いうんち
なんだ
ドロン
?

げぶぅ
!?
ゲップ!?
この高貴なるベルゼブブ様一がゲップだと!?
限界かっ…
もうこれ以上はこの男の糞便をうけきることはできん…
こうなったら
私も……
おやめ
争ってはいけないよ
す…
あなたは…
糞便に根をおろし糞便とともに春をうたい糞便とともに糞便を食そう

わからぬかえ
糞便にこめた
憎しみは
いずれ己に
帰ってくるのじゃ
それ以上
近づくな
ジャキン
老人とはいえ
容赦はせんぞ
感じぬか
盲いたババには
感じるよ
糞便に
クソぬられた
愚か者の
姿がの
ブリィ…
!?
ブリブリィ…
うおおおおお
おおおおおお
なんだ
これはあ
あああああ
コロフンガス
共鳴しておる

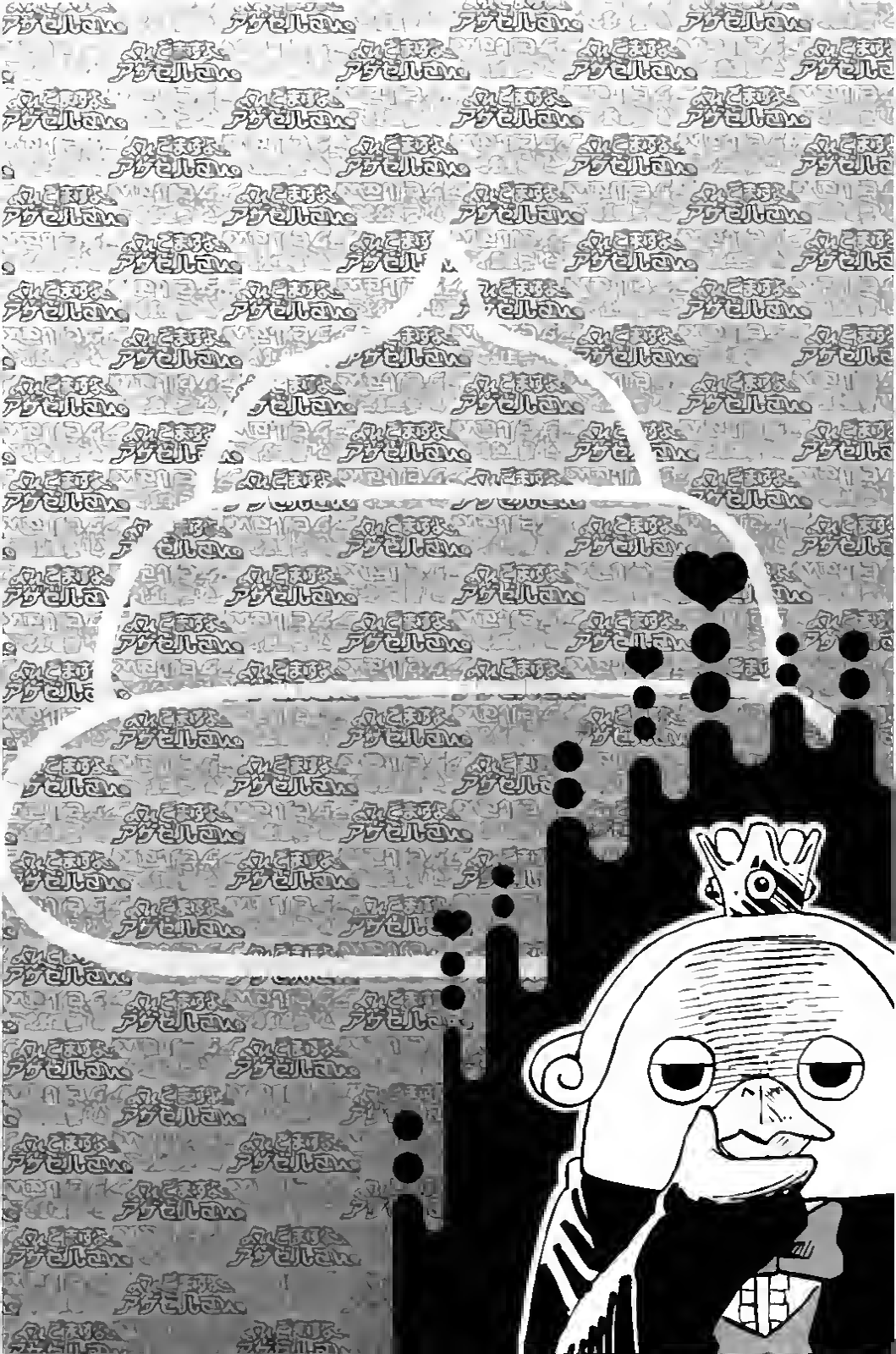
うわぁぁぁぁ
とき放たれた
ダークマターの力に
呼応して
この者が纏いし
憎しみの糞便が
暴走しておるのじゃ
「クソよ
ミソよ」と
暴れておる
のじゃ!!


食すのじゃ!!
偽りの王
もろとも
食してしまわれよ!
黒きうんこを
しずめるには
それより道はない
!!
もう食べれない
ガクッ
王!?


食べられない!
お腹が
一杯で
もう食べられないのだ
……!!

第114話 終わり

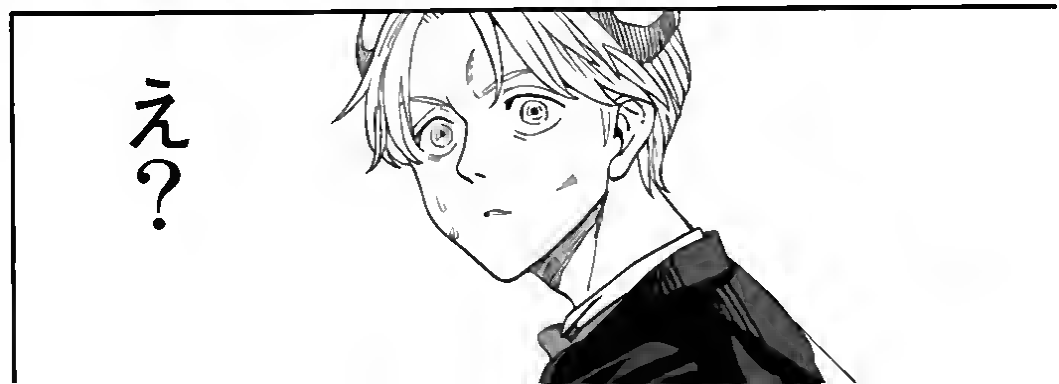
ぶりぶり
ほう――!!
こんなせかいが
あったとは…
ぶりぶり
ほう――!!



ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
パパさよ
みんな
死んじゃうの
そうじゃよ
皆殺しじゃ
怖くないよ
パパに
しっかり
つかまって
おいで
いやだあ
はなせえパパア
死にたくねェ
死にたくねェ
くそ……
くそ〜〜〜
ボッ
うわあああああ

第115話

黄金の伝説



キミは…？
おいっ
だっ？
私はうんこ
あなた方に
育てていただいた
うんこにございます
お疲れですか…？
私は片時も
疲れたことは
ありませんよ
ふるさと
エリアUNKで
すごした
楽しき日々を
おお！
うんこ！
うんこよ！

おお 子供たちよ
聞いた ババの目となって 見ておくれ
ぴぴぴ

っちゅーわけやべーやん！
このくされウンコペロっといったってくれ!!
何を言うとんのかねキミは
彼はもともとキミの部下やったんちゃうんかい
っさい知るかボケェ
第一もう私はお腹がイッパイで食べれんのだ
できる！べーやんならできる!!
私をお食べ下さい
!?
ピカー
おぉ…これは古き伝説の…
わかるんかバアさん
キラキラ
キラキラ
金色のうんこじゃ……
おおおお
見たまんまやないか

天と地の王
バトリし時
金色の糞便
どっかより
来たる
さっきまで
お腹いっぱいって
言っていた
王であったが
「デザートは別腹だし
OKだよねー」と
あっとゆー間に
食いしん坊な
優一君なのであった

伝説は
まことで
あったか…!!
ぶりゅ
ソフト
クリームや
べーやん!
カボチャの
ソフトクリーム
やと思うんや!!

私は究極の
うんこ
ダークマター
私を食した時
あなたは
大いなる力を
手にすることになる
大いなる
……力…?

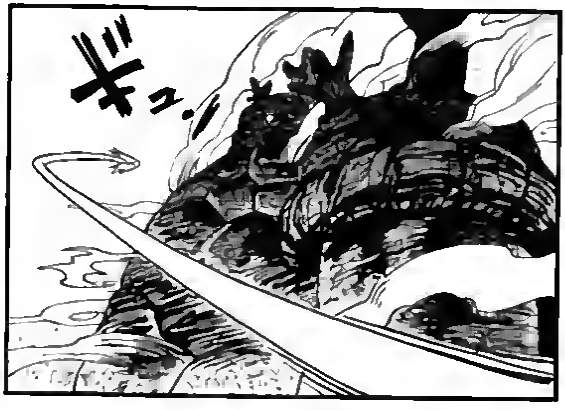
絶大な魔力と
強靭な肉体で
全ての糞便を
食いつくし
全ての悪魔が
あなたの
力の前に
ひれ伏す
ことでしょう

あなたは
魔界の王と
なるのです

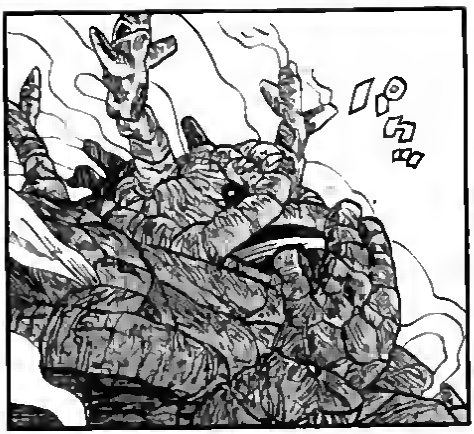
魔神だ…
うんこの
魔神だ

なんて
でかさなんだ
……
あわわわわ

!?
あれは
……


ギュ…

ベルゼブブ様!!
ギョオオオ
食されるおつもりだ
優一様ならやって下さる!



あっ!!

愚か者
あれは作戦や!
タイチョー!!

食べられた!!
ワーワーワー
ワーワー
ワーワー

王は
選んだのです
じゃ…
えーっと…
誰？
す……
自らの命を
なげうっても
……
友の命を
助ける
道をな…
ゴ
ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
ゴ
教えてくれ
アダム
私が食した後
コロフンガスは
どうなるのだ
おそらく
……

優一の！
HEY！
ちょっと
いいトコ
見てみたい
！
イッキ
イッキ
イッキ
イッキ
力だけが
王の資質
でしょうか
意に背く者を
蹂躙し
支配する者が
王でしょうか
ならば私は
魔王になど
なりたくはない
力も望まない
私は
ただ
目の前で
苦しんでいる
仲間を助けたい
だけなのだ

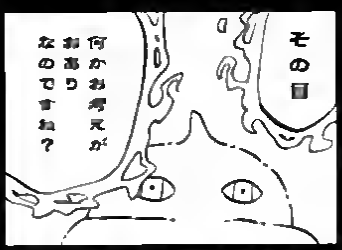
そっか
そっか
べーやんは
優しいなあ
うっ
うっ
うっ
うっ
でもこれは
誰かがやらんと
あかんことや
からなぁ
ちがうかなあ
ボクう
くせぇ
さわるなお
うんうん
せやなあ
せやなあ
よこせ
しょせん
甘坊のべーやんに
魔王なんて
ムリ
よって代打
DHアザゼル
バカを
言うな！
これは
食糞族
伝説の
アイテム
キミが
どーこーできる
代物では
ないのだ！
なにィ
ケチケチ
しやがって
このアザゼルが
力と恐怖で
魔界を支配して
やろうと
言っておるのだ
そうや
今なら
魔界の半分
いや1／4……
1／8を
キサマにくれて
やろうではないか
どうだ
悪い話では
あるまい
ぷるぷる
ぷるぷる

思いあがるな
下郎めがアア!!
あたあ
ぶえちゃああ
身の程をわきまえよ!!
あたたたたたたたた
よいのだアダム
不敬だぞ
すんばへん
まだこの業界日が浅くて…
すんまへえん

私は嫉いではありませんよ
しかし
あなたのようなお方は…
ワシもワシも
ですよねえ

甘い
たしかに魔界の王にあるまじき甘い考えだ
せやぞ甘いんやぞ

アダム


その目
何かお考えがおありなのですね?

ヲかがいましょう
彼の者を黒き貴便の呪縛より解き放つ方法を

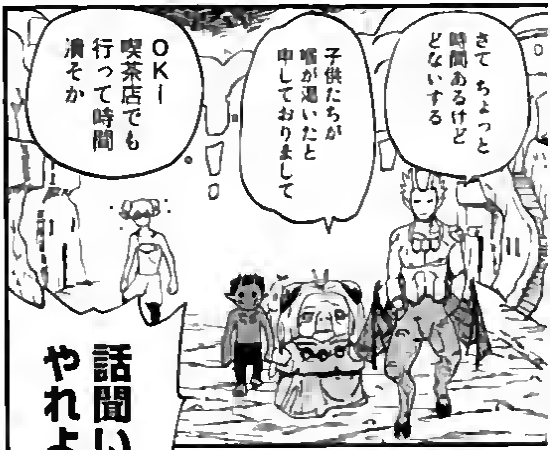
なっ
ヤツの本体に私を食させるですと!?
そうだ
今キミを必要としているのは私ではない
彼だ
たしかにヤツに直接私を食させれば黒き糞便を中和させることも可能かもしれない…
しかし…
危険じゃ!!
ヤツの本体は黒き糞便の最深部!
ミスれば超ヤバイことになります故リアルにやめときなされ!!
危険は承知の上
すっ
しかし…伝説が…!
フー
あなた様には願いません
願いでしょ
私はアダムベルゼブブと共に行く糞便
ドン

——ちゅうわけや
あとはベーやんとアダム様を信じて待つんや

助けてやってください
おうルーキーやないか

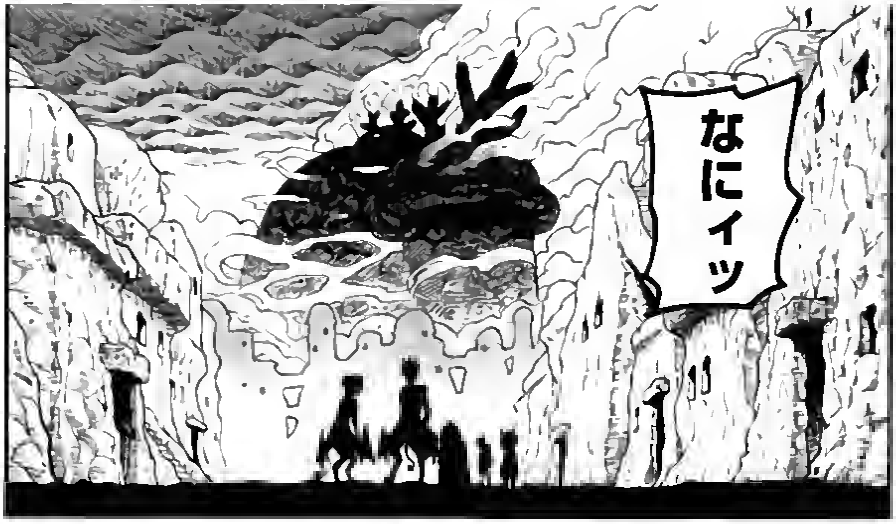
大丈夫や今ベーやんが助けに行っとるからな！
ベーやんとアダム様を信じて待つんや
あんたたちどんな関係なんスか

違うのです
コロフンガスにあのコに糞便を食べさせてはいけない！

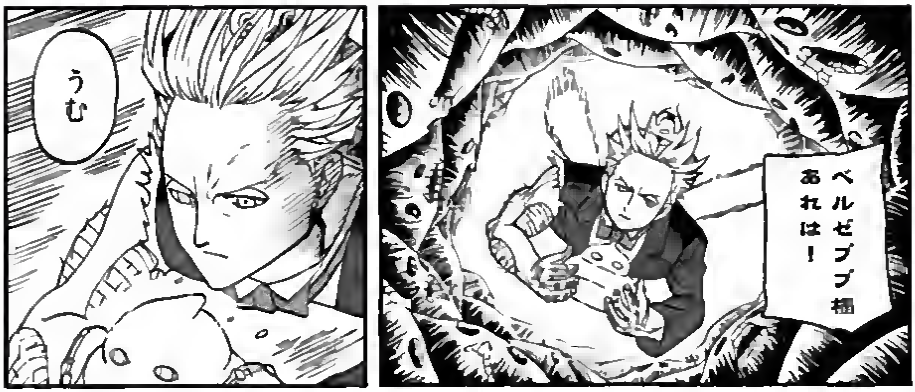

さてちょっと時間あるけどどないする
子供たちが喉が渇いたと申しておりまして
OK！喫茶店でも行って時間潰そか

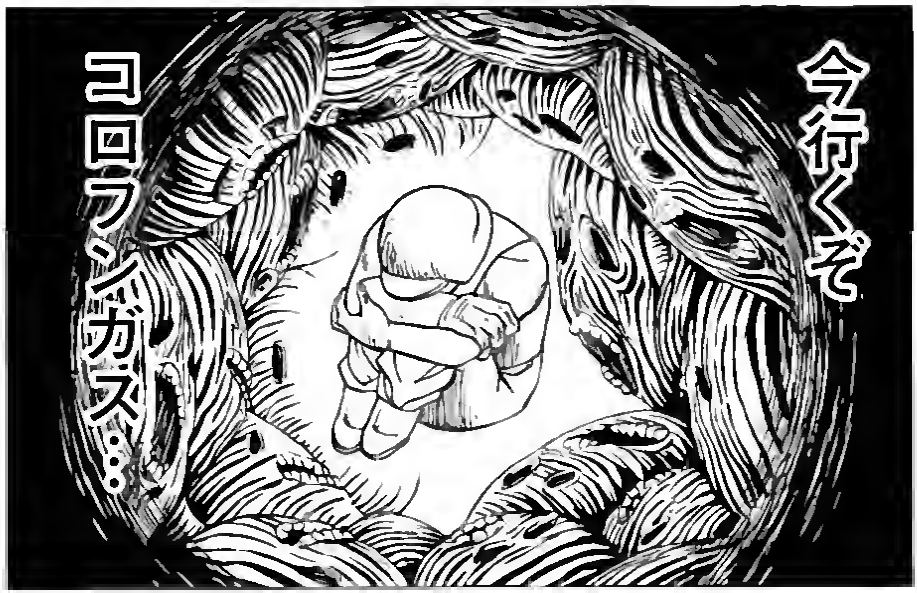
何か事情があるんスね？
う…
うぅ…

話聞いてやれよ!!


なにイッ

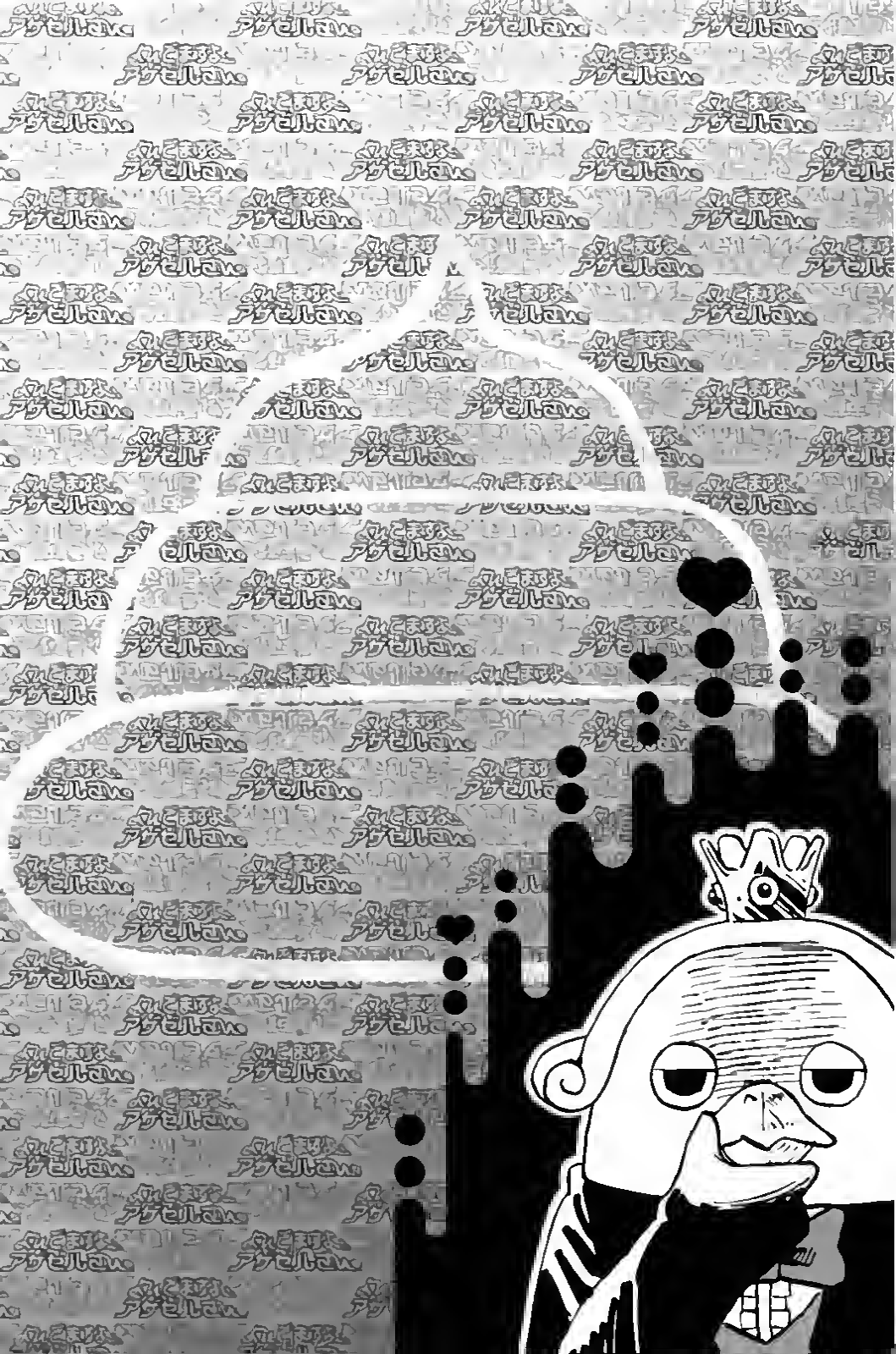
おおおお
なんと
恐ろしきことなのじゃ…
それが本当だとしたら…
ベーやんよ……！

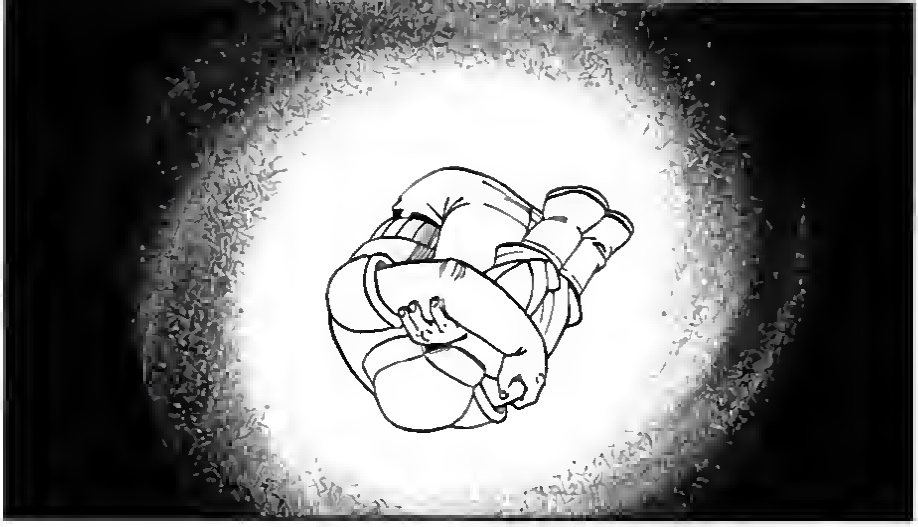




第115話 終わり

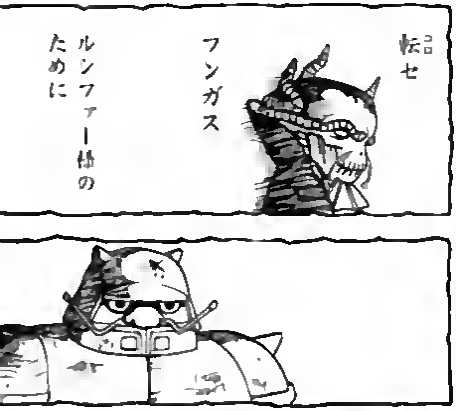
不假

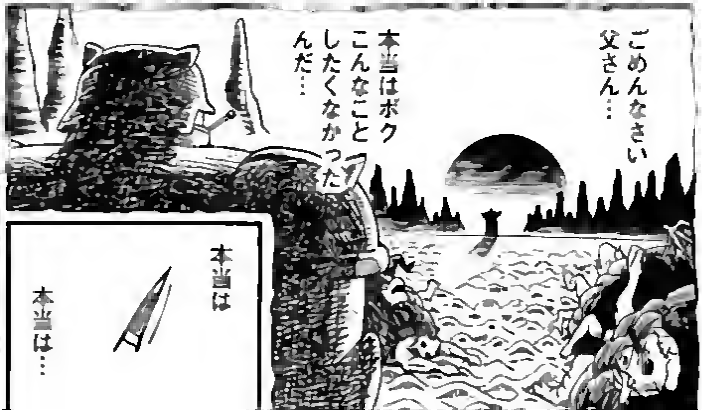




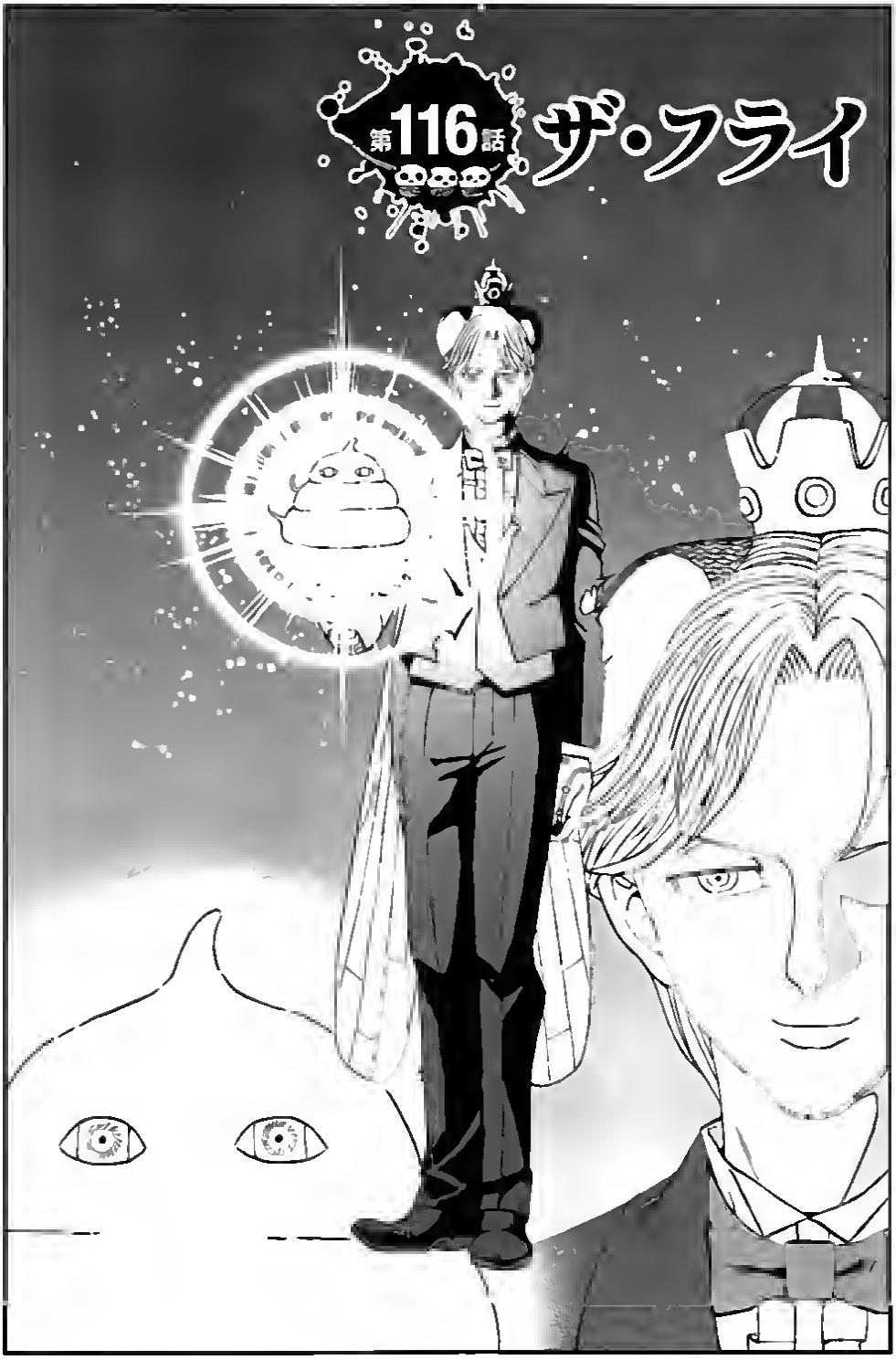
よく
やったな
コロ
フンガス
よ

これが
最使の力だ
お前が
最使を
転がせば
どんな悪魔も
殺すことが
できる


転セ
フンガス
ルンファー様の
ために


ごめんなさい
父さん…
本当はボク
こんなこと
したくなかった
んだ…
本当は
本当は…

!?

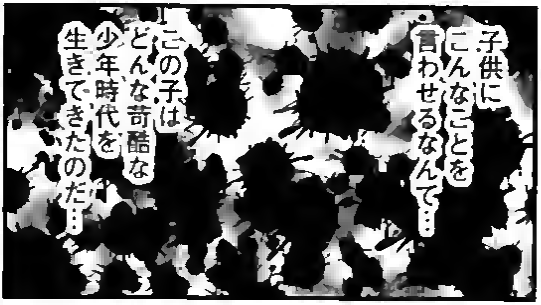

第116話
ザ・フライ

キミは…
うんこは
好きかい？
好きじゃ
ない
うん…
こ…？
キラキラ
してる
ボクこんな
キレイな
うんこ見たの
初めて…
大丈夫
もっとこっちへ
おいで
う…
まぶしい
それは
…なに？
これは
うんこさ

そしたら
父さんが
たくさん
ほめてくれる
ルシファー様も
喜んでくれる

ボクが
上手にうんこを
転がせば
たくさん悪魔が
死ぬんだ

でも
本当は…
うんこなんて
好きでもないし
触りたくもない
んだ…

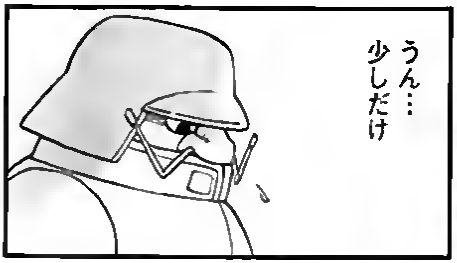

子供に
こんなことを
言わせるなんて…
この子は
どんな苛酷な
少年時代を
生きてきたのだ…

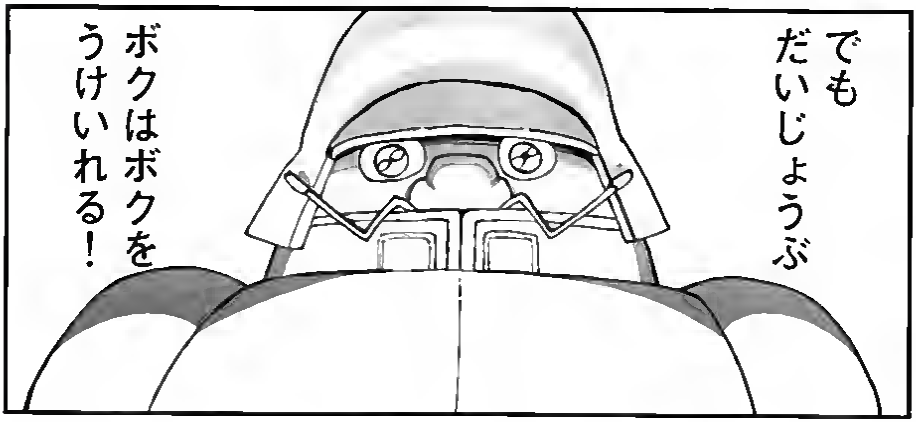
ちがう
本当のうんこは
キミが思っている
ようなものではない

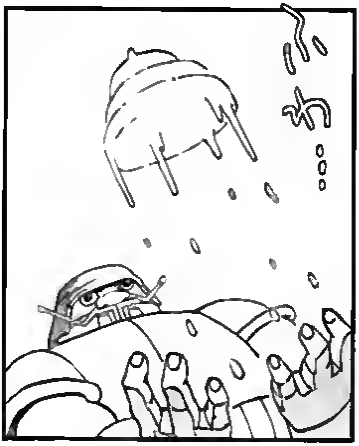
うんこは
すばらしい
食べ物だ
え？
お兄さん
何を言って
いるの？
食べ物
なんだ
うんこは
食べ物なんだ
！
わからない…！
ボク お兄さんの
言っていることが
わからないよ!!
拒むのか
？
本当の自分を
本当の…
ボク…？
キミが
拒んでいるのは
うんこではない
！
キミ自身だ
ボク
自身…？
え…？

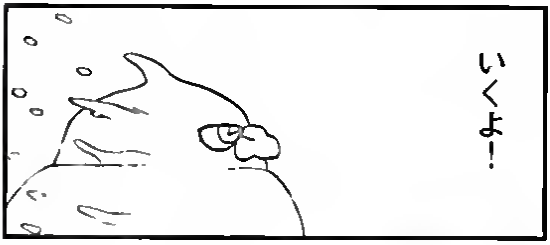
こわい…？

受けいれるんだ
キミ自身を…


うん…
少しだけ

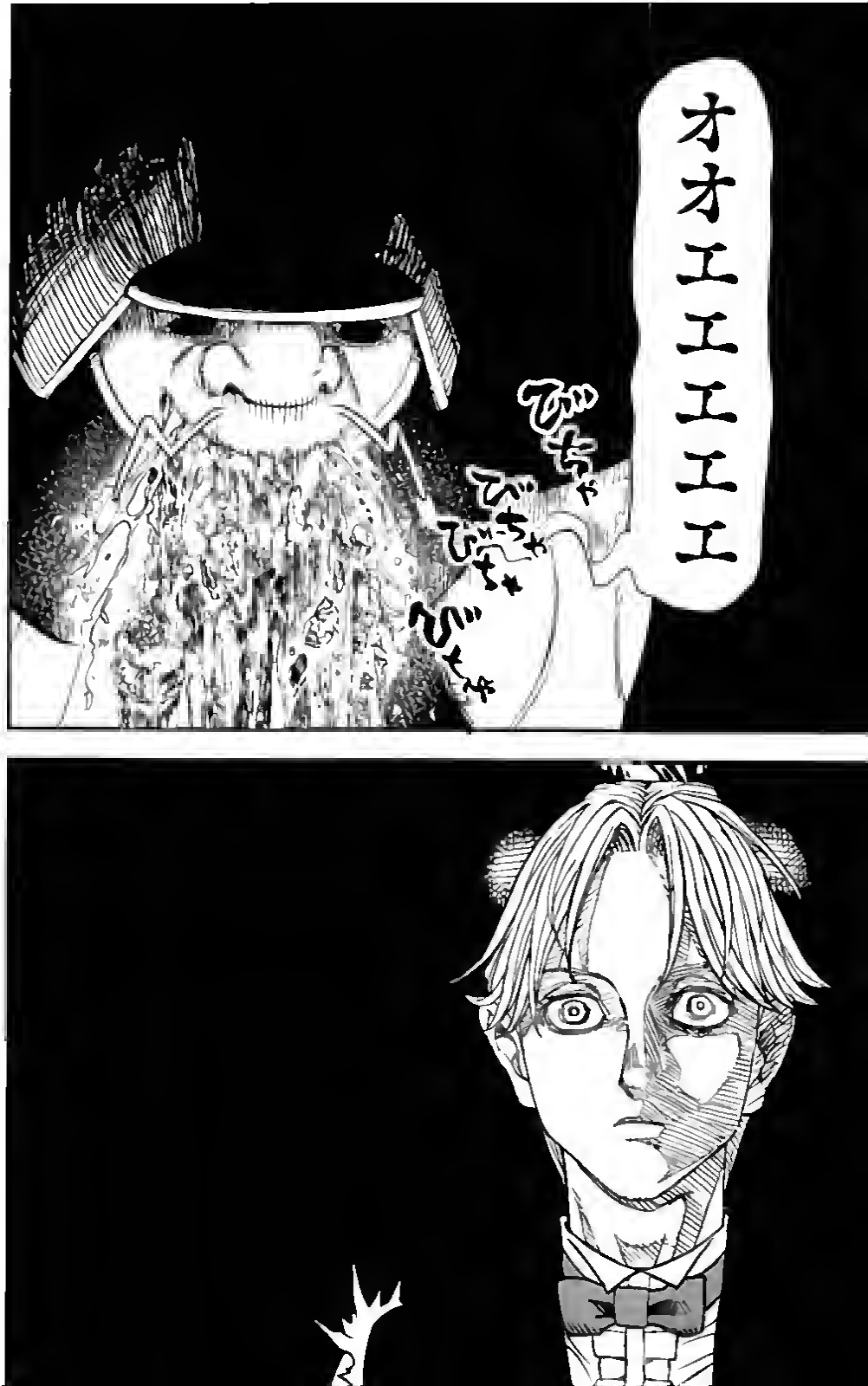

でも
だいじょうぶ
ボクはボクを
うけいれる！


ふわ…


いくよ！

うん！

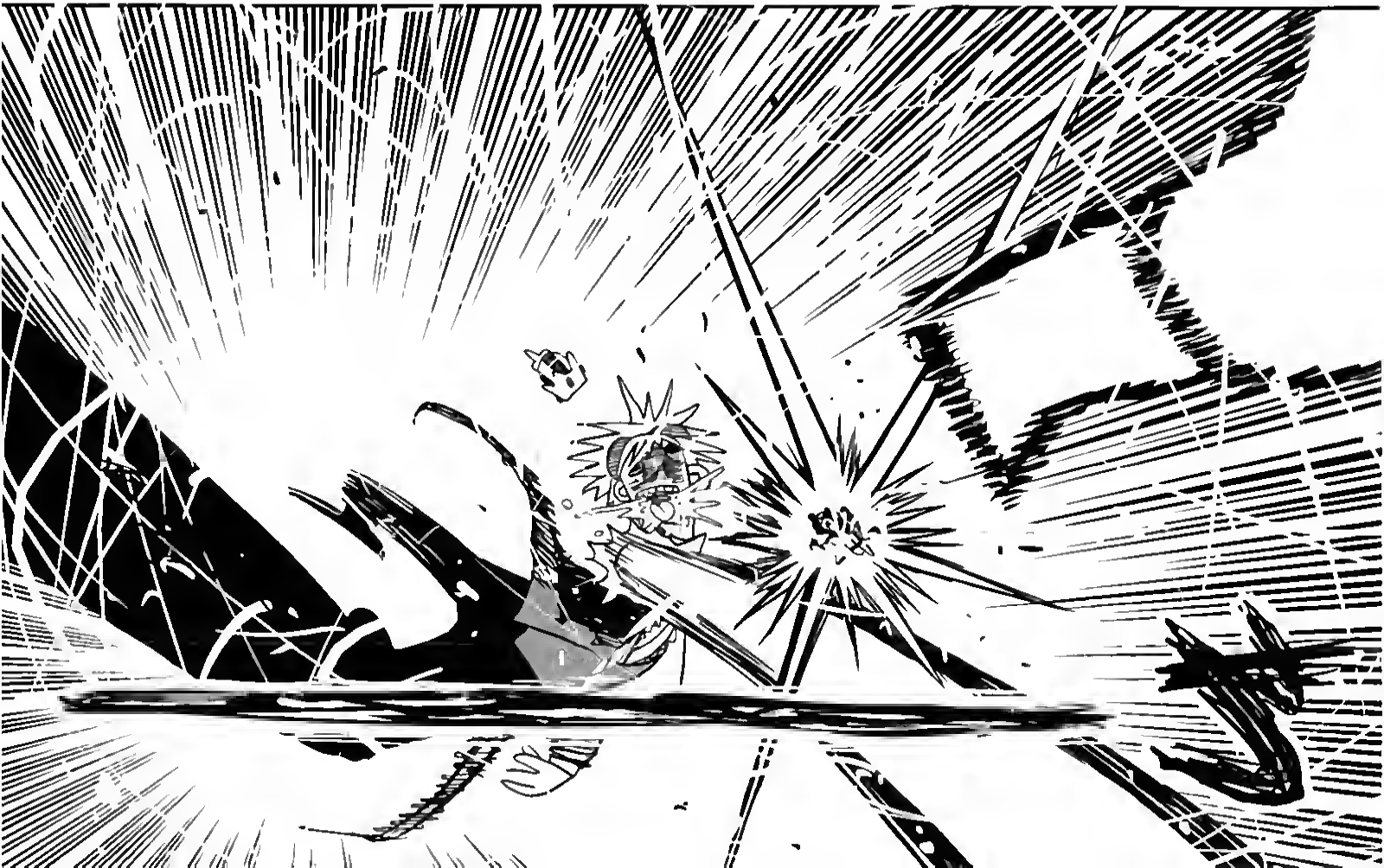
うわ——
ヒュッ
ドカ
見事だ
コロフンガス
そして ありがとう
アダム…!
君のことは
永遠に忘れないよ…

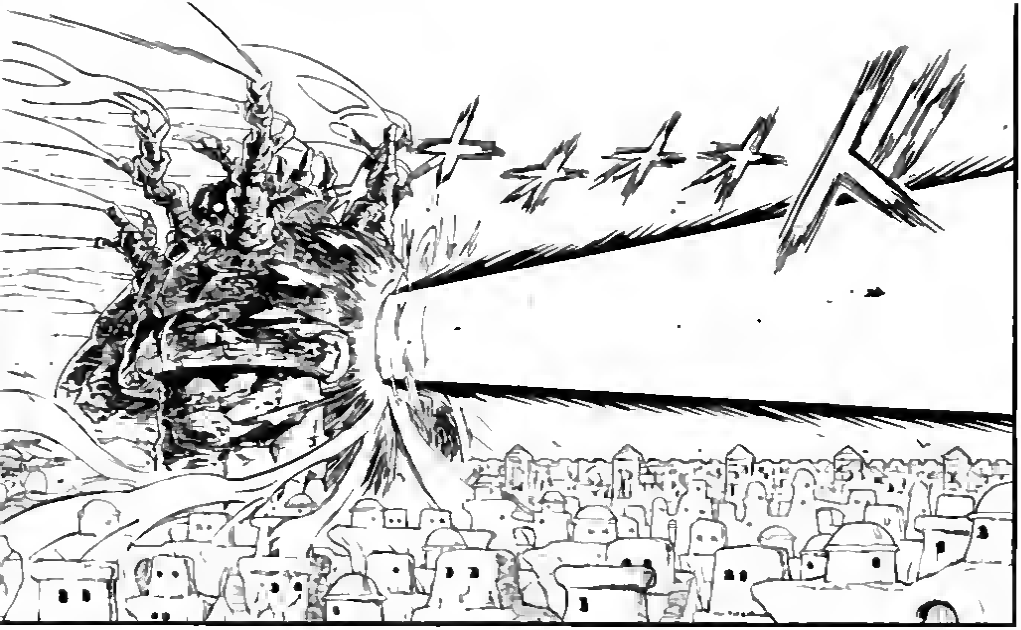

オオエエエエエ
びちゃ
びちゃ
びちゃ
びちゃ

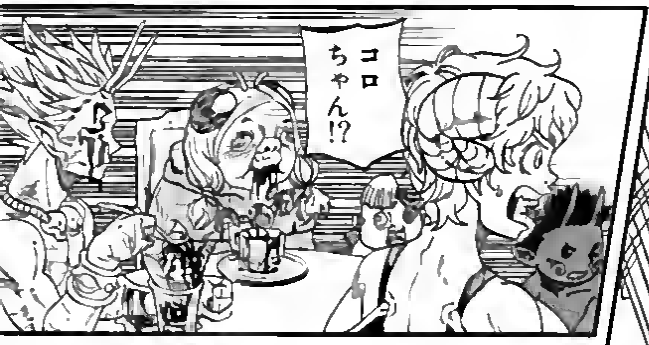
ボリボリ
ボリ
こ…こんなもの食べるやつの気がしれん…
ボリ

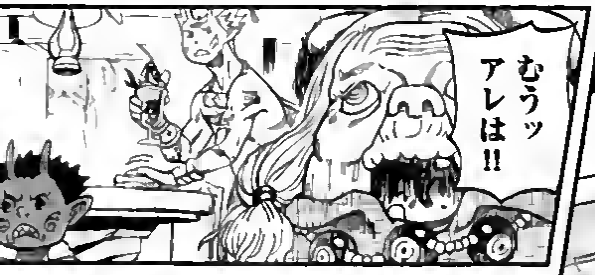
ドドドドド
ドドドドド
くっ
アダム

みんな…
ドドドドド
ああ……
あ～～～～～
HHHH

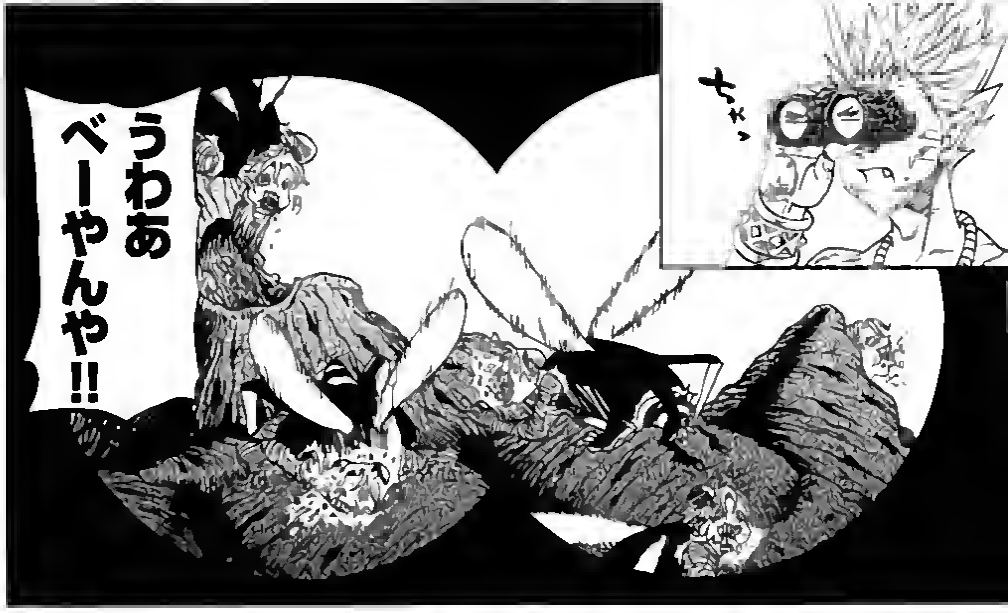





コロちゃん!?


むうッ
アレは!!

あそこじゃ!
あそこを
見るのじゃ!!
?
??
なんも
見えへんぞ!
マサイ族か
バハア


ヒィッ
うわぁ
べーやんや!!

これは
もしや
伝説の…
わかんのか
バァさん

わからん
何が何だか
さっぱり
わからん
よーわからんの
やったら
しゃしゃりでて
くんなや!
うっとうしいから!

ひっ

許すまじ
いいいい
その者は
膀胱を目流
したあああ

おちつけ
ベーやん
キモすぎる
にも
ほどがあるぞ
ちがうんです
ベルゼブブ様
コロちゃんは
伝説の一族でも
何でもないんです
なにい
？
それは
私の口から
語らせて
もらおう
ルーキー
？
アダム様が死に
魂が肉の体へと
帰ったのじゃ
ほぁ
その昔…
ルシファー様
対ベルゼブブ
糞便兵
養成計画の件で
ございますが…

どうやら伝説の「地の一族」は完全に絶滅しており一匹の生き残りも確認できず

計画の実現は難しいかと…

ルキフグス

てめぇオレに逆らうつもりか

めっそうもございません

じゃあやれ

し…しかし！

近くの村に似たようなヤツらがいたじゃねぇか

あの一族にやらせろ

あの……一族…？

コロちゃんはフンコロガシではないんです

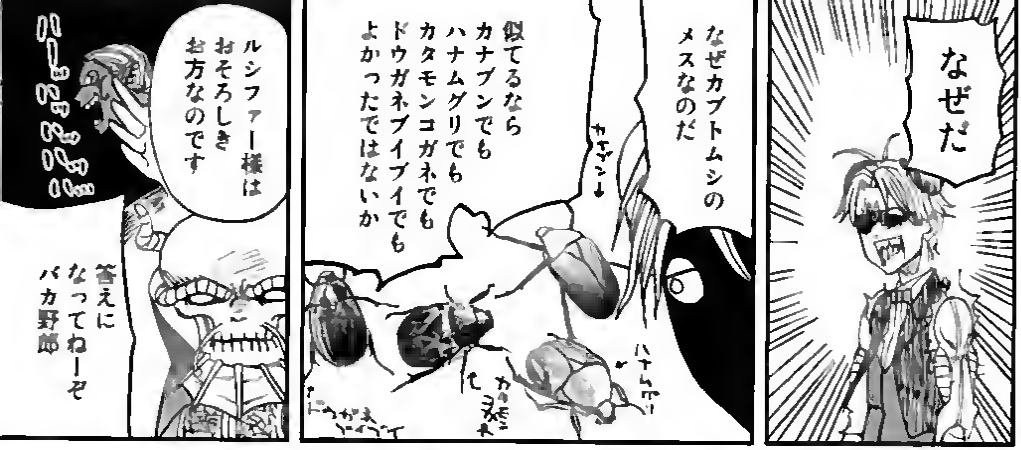
カブトムシなんです

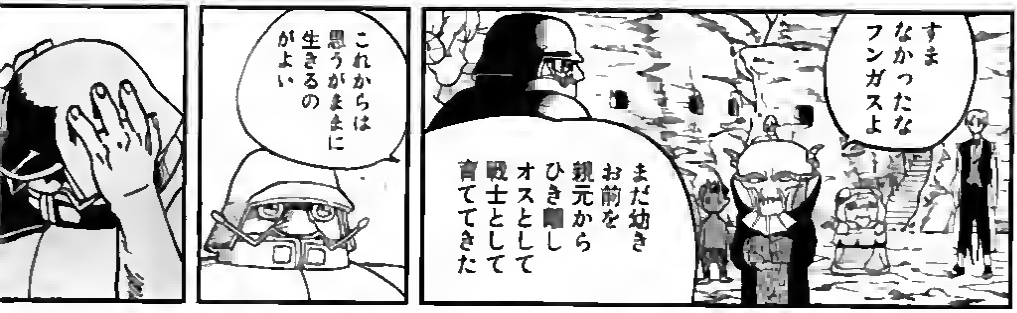
何を言ってる

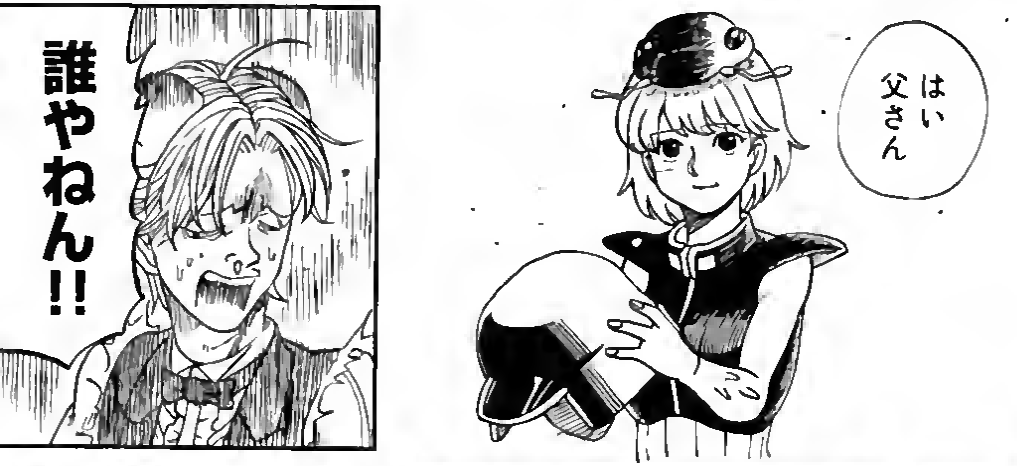
ツノが…

ツノがないではないか

メスなんです


なぜだ
なぜカブトムシのメスなのだ
似てるならカナブンでもハナムグリでもカタモンコガネでもドウガネブイブイでもよかったではないか
ルシファー様はおそろしきお方なのです
答えになってねーぜバカ野郎

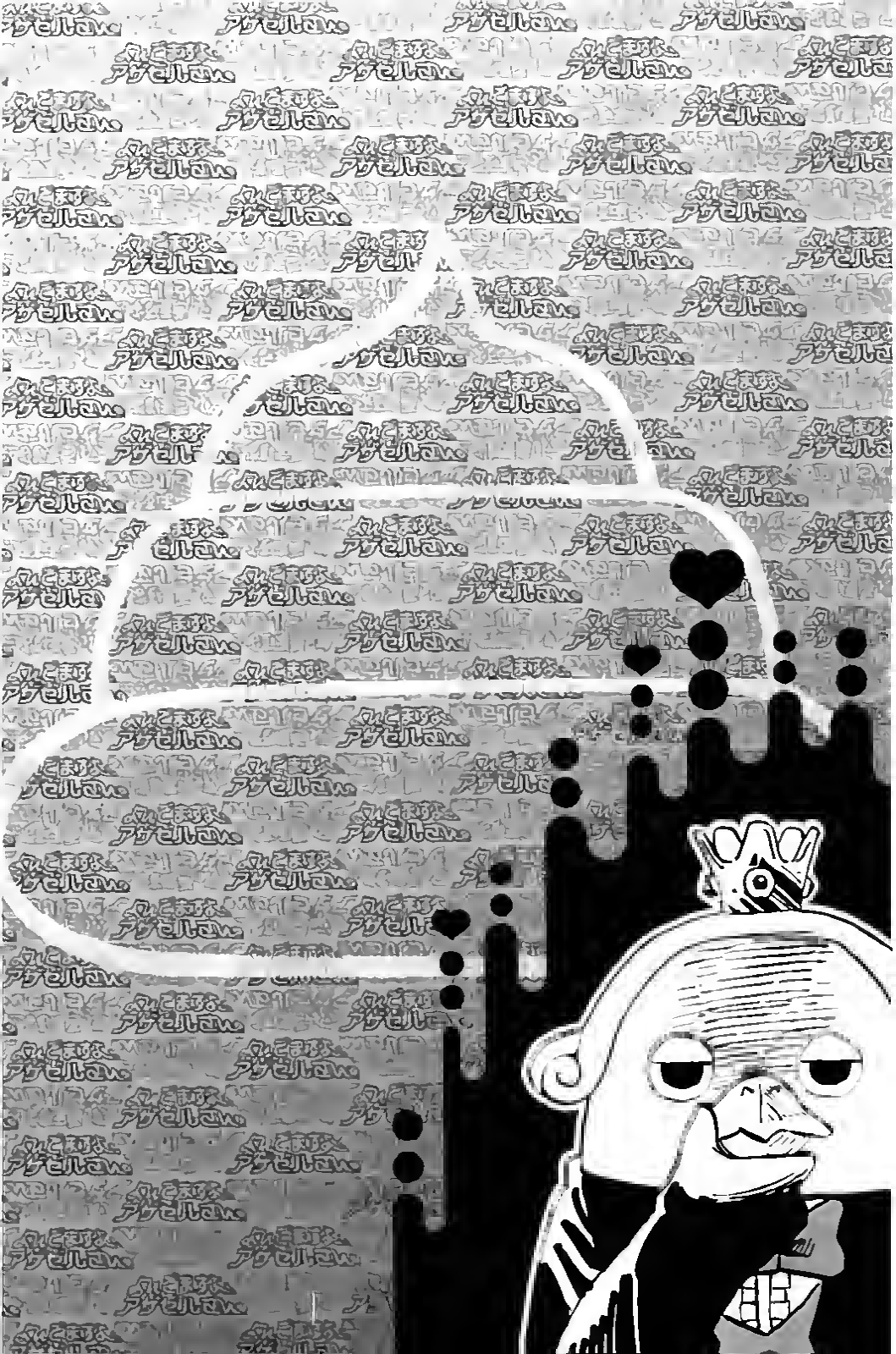

すまなかったなフンガスよ…
まだ幼きお前を親元からひき離しオスとして戦士として育ててきた
これからは思うがままに生きるのがよい


はい父さん
誰やねん!!

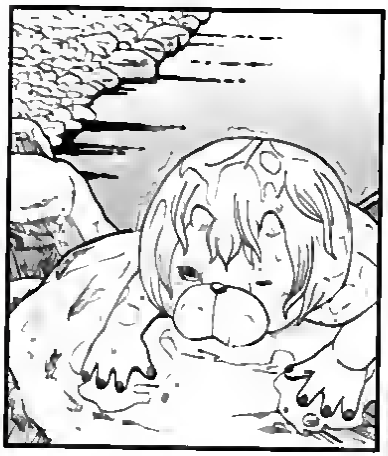
女っ●ーのはかわるもんやのぉ
変わりすぎだメタモルフォーゼではないか
こんな美少女にムリヤリうんこを食べさせるなんて鬼畜の所業っス
ぐぬぬぬぬなんだこの空気はこれでは私が悪者みたいではないか
やってくれたなルシファー

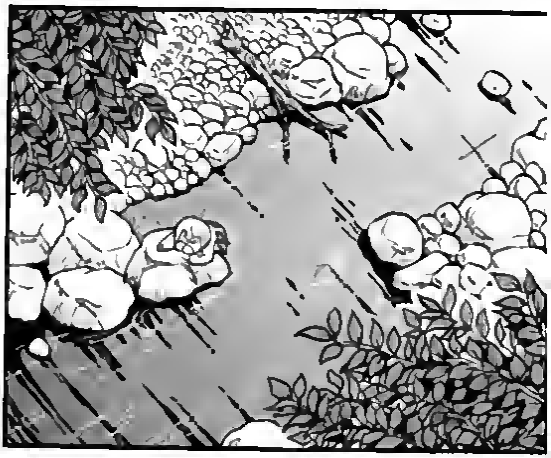
いいけどね!!
私悪魔だから!!
悪は去ったか…
……
さてとコロ
女であることを隠しこのワシに近づいた罪は重い
軍法会議ものだぞ
よってセクハラの刑や
おっぱいをさわらせるのだ
ワシニワシ
お前うんこください
オレに近よるな
コロすぞ
誰がうんこや
あんたっスよ
なんで元に戻らないんスか
ワシはうんこやない!うんこやない!!
ア…
ザザ
ふつつかなアザゼルさんも終わり

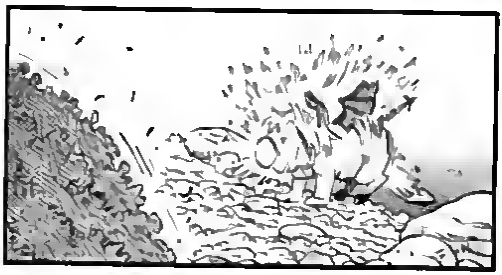
嗚呼
うんこ
食べさせたら
長生き
しました
やーだったー

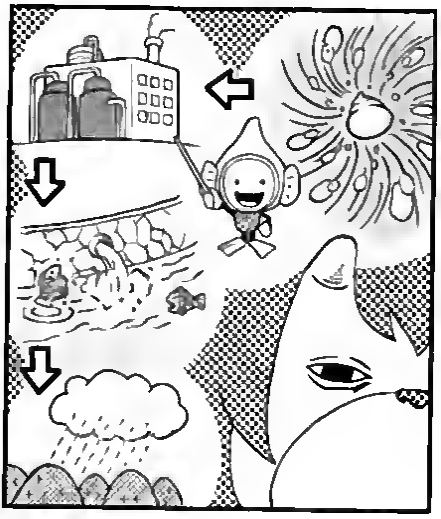


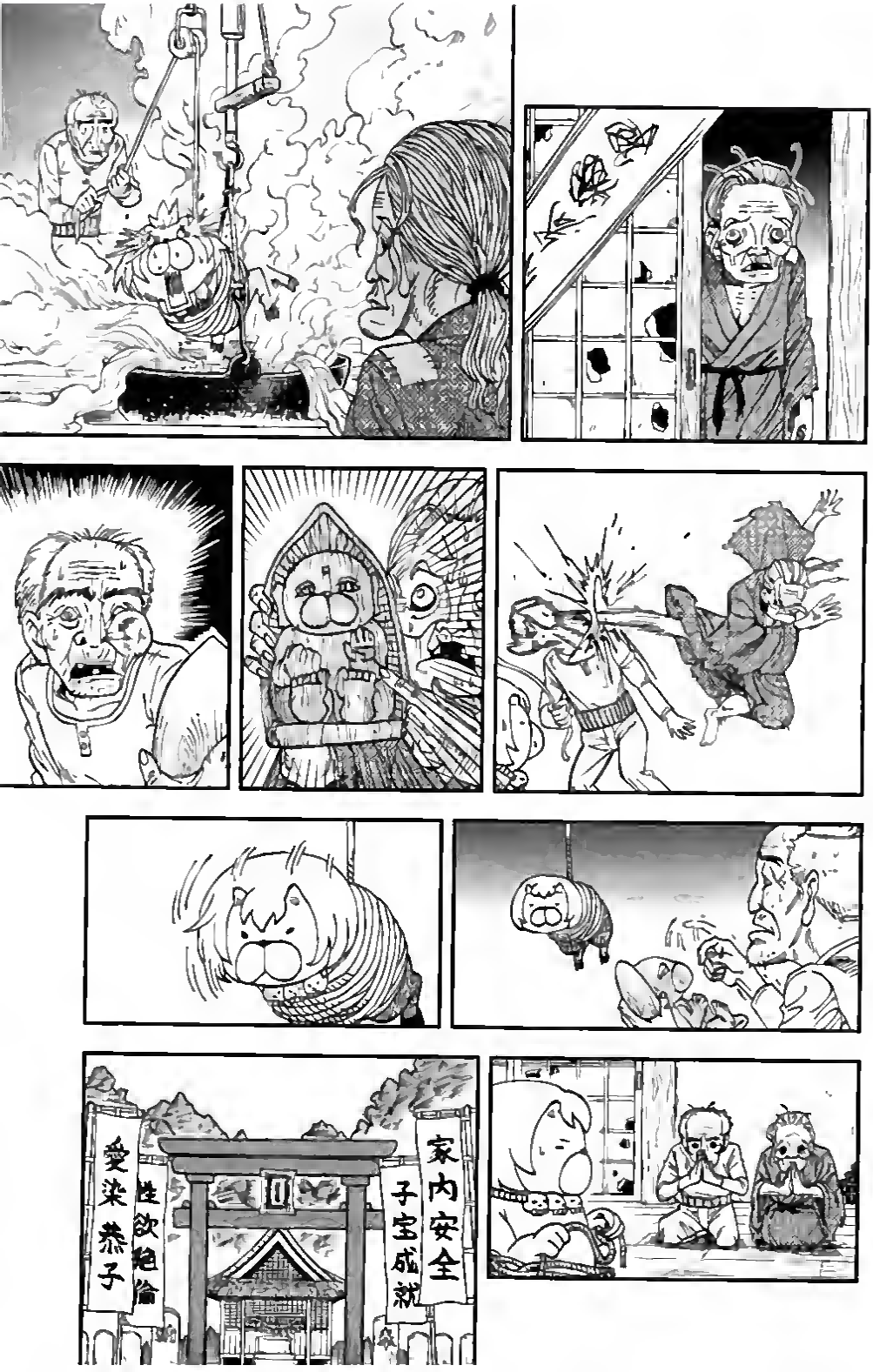
第116.5話
トイレ…その後に










家内安全
子宝成就
性欲絶倫
愛染恭子

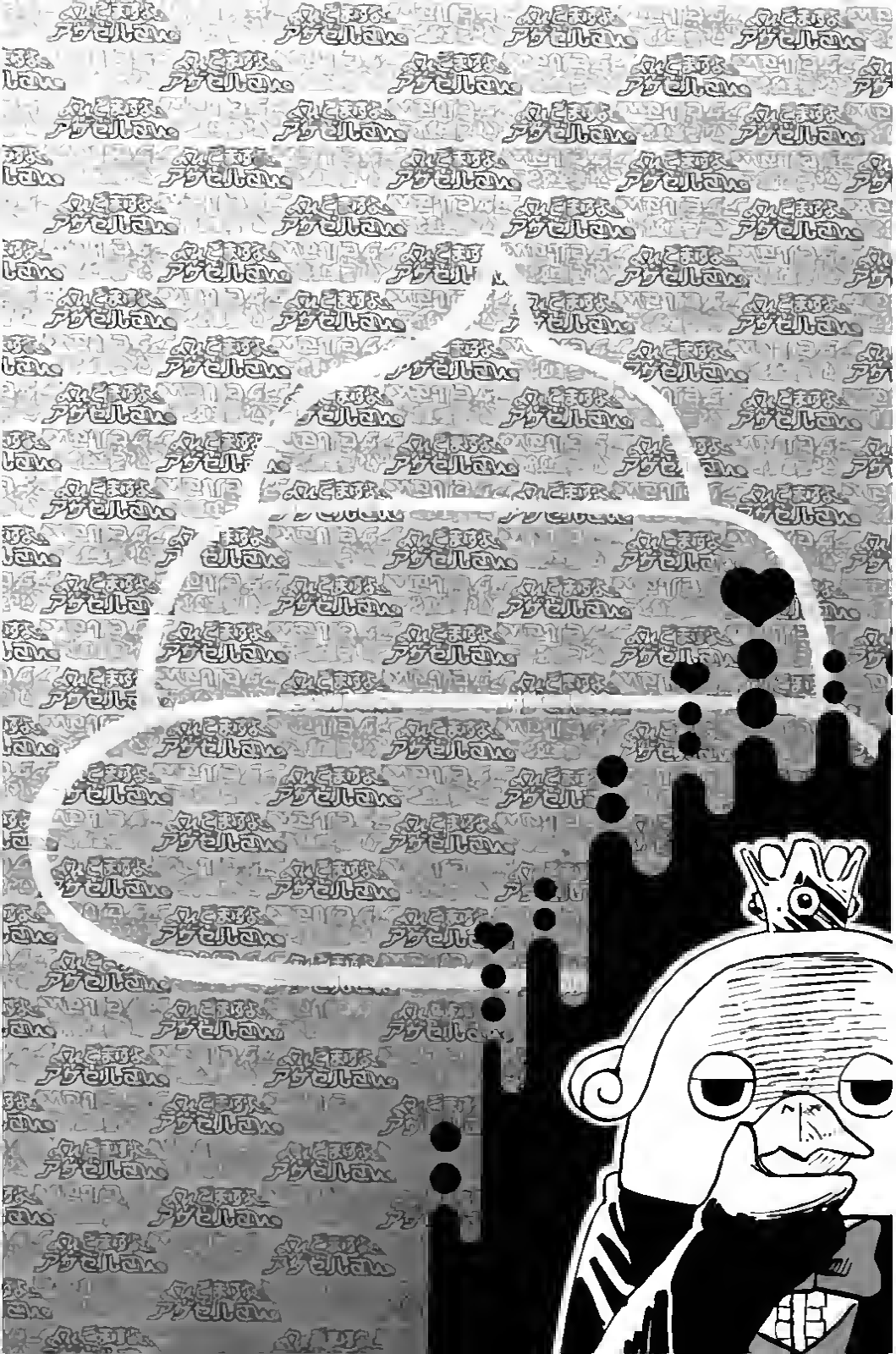
ワシのこと
いつまで
ほっとくつもり
なんじゃ
ボケさくが――
!!!
芥辺探偵事務所

あ――
アザゼルさん
どーしたん
ですか？
どーしたんですかと
ちゃうわ お前が早よ
よばへんから
ワケわからん展開に
なってきとんのしゃ!!

ワシ 今
どっかの村で
ジジババ連に
軟禁されとんねん
ヤツらワシのことを
その土地の神様か
何かと勘違いしとる
んや このままやと
ワシこの村に
まつられてしまう
はよ
助けてくれ
召喚してくれ

今ちょっと
忙しいんで
また今度にして
もらえますか

あの女…
許さん…
3巻へつづく…



ナゴム